

機關雜誌

木部

日本水上競技聯盟

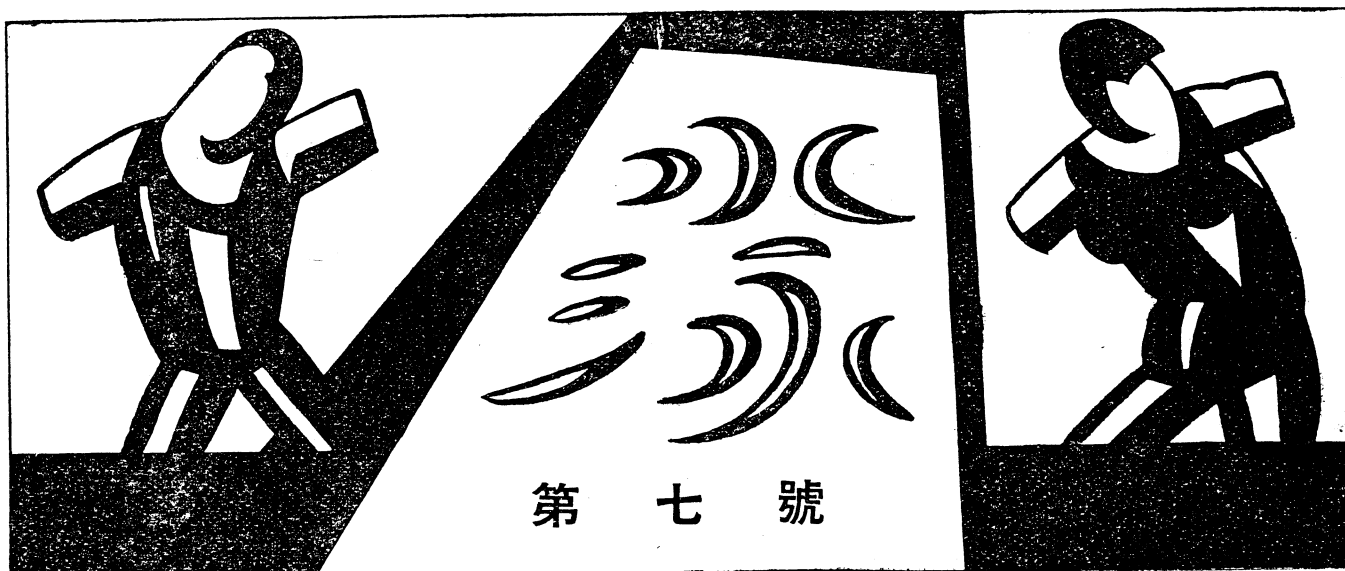
米

1931

NO.7

八月一日發行

日米對抗前記



日本水上競技聯盟機關雜誌

目 次

全世界注視の下に日米對抗を開く……………末弘 巖 太郎…………(3)

白山源三郎君を送る……………田 畑 政 治…………(4)

米國代表選手の實力……………飯 田 光 太 郎…………(5)

日米對抗水上競技トロフィー物語、アトリエ秘録……………齋 藤 素 巖…………(8)

早慶戦感想……………藤 田 明…………(9)

競泳發達史……………市 村 魁 山…………(10)

海外情報一束……………(14)

新裝なれる明治神宮外苑水泳場……………(16)

競 技 會 報

全國學生水球春期リーグ戦……………廣 瀬 秀 俊…………(17)

記念競泳大會……………(19)

帝慶飛込水球戦……………(20)

大學新人水上競技大會……………(21)

第五回早慶對抗水上競技大會……………(21)

第五回東海中等學校水上競技會……………(22)

第五回北大豫科對小樽高商水上競技大會……………(23)

第八回(早大・關學)對抗水上競技大會……………(24)

東海上上競技選手權大會……………(25)

一 般 會 報

國際アマター水泳聯盟會報 FINA ……(26)

日米對抗水上競技大會會報……………(28)

日本水上競技聯盟會報 NSR ……(29)

加盟團體會報、編輯後記……………(30)

寫 眞 來朝せる米軍——優勝牌——新裝なれる神宮プール

聯盟より
競技者へ

本誌購読會員募集

正確な
記 録

日本水上競技聯盟『水泳』機關雜誌

隔月發行（凡そ二、四、六、八、十、十二月初旬）

壹部 金參拾錢 一ケ年 壹圓八拾錢（郵税不要）

毎月聯盟及び國際水泳聯盟の會報、最新の世界水泳情報、寫眞、有益なる研究、記録等滿載

申 込 方 法

端書にて下記へ申込まれたし

東京市四谷區明治神宮外苑水泳場 日本水上競技聯盟本部

注意——何號より送本すべきか附記を乞ふ。殘本多少あり。

送金——小爲替又は振替利用の事。振替口座東京 39919

（東京市外代々木山谷三〇〇日本水上競技聯盟）

東京市四谷區神宮外苑水泳場 日本水上競技聯盟

神宮プールニケ年指定席

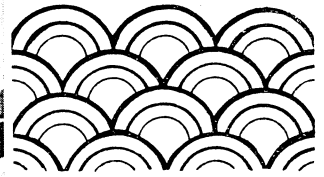
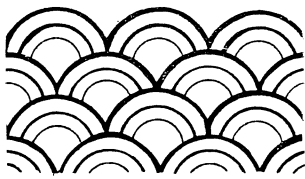
一 席 三 十 圓

申込受付開始 神宮プールで開催される日本水上競技聯盟並に全國學生競技聯盟公認競技會全部に有効、場所は貴賓席前

本年は特に公開中の游泳も許可する

申込受付場所 神宮プール 三越本店 松屋

栗本運動具店 美津濃



日本水上競技聯盟

水 泳

機 關 雜 誌

昭 和 六 年

第 七 號

八 月 一 日

吾々は今茲に世界最強の水泳チームとして自他共に許す米國水泳チームを迎へて眞に意義ある二國對抗の競技會を開くに至つたことを心より喜ぶ。此競技會は獨り吾國及び米國にとつてのみならず、全世界を通じて今年度開かるべき最大の水上競技會であつて、世界水泳人等の注目は自らこれにあつまつて居る。私は兩國の選手が死力を盡して相戦ひ以て一般の期待に背かない立派な好記録を残さんことを希望してやまないものである。

吾々は今此意義ある競技會を目のあたり見ることの出来る幸福を心より喜ぶと同時に、之を通じて將來の爲めに貴重な何物かを得ねばならないと言ふ重い責任を感ず

全世界注視の下に 日米對抗を開く 更に高き何物かを學べ

日本水上競技聯盟會長

末 弘 嚴 太 郎

來夏八月吾々がロスアンゼリスでどれまで戦へるかは主として今夏に於ける吾々一同の努力如何によつて定まる。殊に今回の競技會から如何なる教訓を

受けるかは吾々來夏の興廢を決すべき重要因子である。吾々は大に戦はねばならない。しかし同時によく觀察し、よく考へねばならない。かくしてこそ初めて此競技會の價値が十二分に發揮されるのである。

日 米 對 抗

特 輯 號

體協より

オリンピック調査委員を
命ぜられし

白山源三郎君を送る

日本水上競技聯盟理事

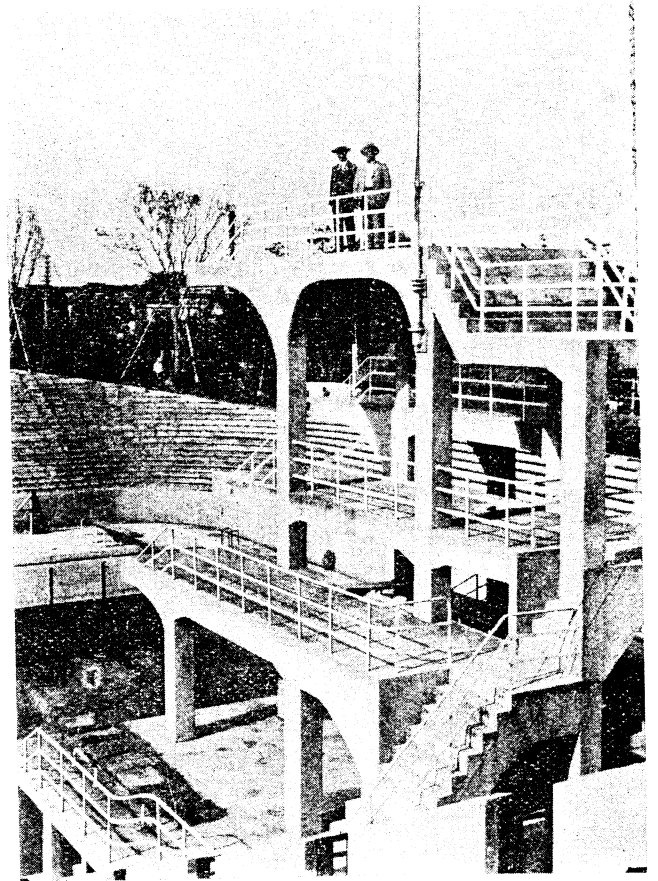
田 畑 政 治

本誌の編輯主任白山源三郎君は今回、關東學院より二ケ年歐米留學を命ぜられ、七月十六日横濱出帆の龍田丸で渡米の途に着かれた。君は一ケ年、南加大學に籍を置き、來年オリムピツクの開かれるロサンゼルスに滞在される事となつたので、わが日本水上競技聯盟並に大本日體育協會は、君をオリンピック調査委員に任命した。

君は第三回極東選手權大會が芝浦に開かれた際日本代表選手として、百、背泳に活躍し、爾來表裏共に、日本水泳界のために盡す所、頗る多かつたのは、萬人の知る所、オリムピツク調査委員に



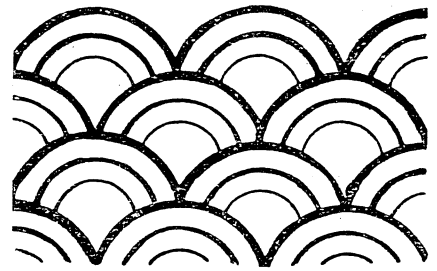
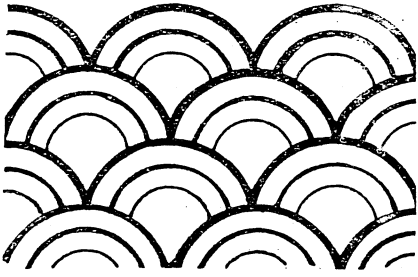
白山源三郎氏
出發前神宮プール貴賓室にて



白山氏と田畑氏
明治神宮水泳場にて

擧げられた事は、誠に適材適所といふべきであらう

日本の運動界は國際オリムピツクに對し餘りに泥繩的であつた。オリムピツク舉行地の競技設備は勿論、氣候、風土、人情等に餘りに無關心であつた。これでは、いかに、よい選手を揃へても豫期通りの成績を擧げ得ぬのは、寧ろ當然とさへいへやう今回、白山君がオリムピツク調査委員として一ケ年前からロサンゼルスに滞在される事はこの弊風を破つた痛快事であり、わが運動界にとつて、誠に有意義な事といはなければならぬ。殊に、來年のオリムピツクに絶大な野望を持つわが水泳界は、君の今後の努力に待つ所、頗る大なるものがある。切に君の健康を祈る。



日 米 對 抗

特 輯

日 米 水 泳 戰

米 國 代 表 選 手 の 實 力

飯 田 光 太 郎

今 回 の日米對抗水泳戰の米國代表選手の氏名が A. A. U. から電報で通知されたが、從來あまり著名でない新進の人が多いので、どの位の實力であるかを調べて見様と思つて昨年一月以降の成績を集めて見た。大體は米國からの通信を基礎として作つたもので、相當信用出来ると思つて居る。

米國 A. A. U. から水上聯盟に到達した電報はフルネームがないのでホーンが如何なる人であるか判断するのに困つた。ニューヨークタイムス所報によるとドナルド・ホーンとあり、ハンドレー氏からの報道によるとレイク・ショーア A. C. のアーサー・ホーンとある。然しドナルドは1929年のセントラル・アツソシエーション室内選手権に 220碼平泳で二着になつて居る。一着は 3:06.6 でゲツツと云ふ人である。之に對してアーサーの方は昨年 220碼平泳に 2:54.2 の記録を出して居り落選はしたが今年の全米室内選手権にも出て居るので、アーサーとドナルドと同一人として取つた何れにしても平泳の泳手である。

米國では一流の雄であるデョーヂ・コージャツク、レオナード及びヲレイス・スペンス兄弟、アルバート・シュワーツ、ラルター・

ローフアー及びブラッドフォード・バトラー等が事情の爲め参加出来なかつた事を甚だ遺憾として居る。

Austin Clapp

オースチン・クラツプ

スタンフォード大學生
ハリウツド A. C. 所屬

1928年のアムステルダムのオリムピアドに米國代表選手として参加した。其時の成績は

400米自由	豫選	5:13.4
	準決	5:06.8
	決勝	五 着
1500米自由	豫選	21:31.0
	準決	中 止

800米リレー決勝のスタートを切り
200米 2:22.8

1930年の成績

150碼背泳	1:45.2 (25碼)	不明
220碼自由	2:20.6	

220碼自由	2:17.2 (25碼)	三月
440碼	4:55.8	三月
500碼	5:42.2	三月
100碼	0:56.0 (100呎)	五月

七月ロング・ビーチで開かれた全米戶外選手権に 440碼 三着、300米メドレー 三着、(55碼)

400米自由	5:14.6 (100米)	九月
800米	11:22.0	九月
300米メドレー	4:26.4	九月

220碼自由 2:23.4 (25碼)十二月
1931年の成績

220碼自由	2:19.0 (25碼)	二月
440碼	5:09.6	三月

三月シカゴで開かれた全米カリヂ大會 (25碼)

220碼自由	2:18.4	優勝
440碼	二着(一着クラブ5:02.0)	

四月レイク・ショーア A. C. (25碼)で開かれた全米室内選手権

500碼自由	5:41.1	優勝
220碼自由	四 着	

Clarence Crabbe

クラレンス・クラブ

サザーン・カリフォルニア大學生
ロサンヂエレス A. C. 所屬

1926年及1927年に二度來朝した事がある。最初來た時は極く荒げづりな泳ぎ方であつた。二度目には日本式のよい所をすつかり取り入れて見事な泳ぎ方となつたが1928年のオリムピアドには手を押へる癖が出で、次の様な成績で期待に反した。然し長距離の乏しい米國では先づ第一人者である。

400米自由	豫選	5:09.8
	準決	5:06.2
	決勝	四 着
1500米自由	豫選	20:17.8
	準決	20:55.4
	決勝	20:28.8 三等

1930年の成績

500碼自由 5:42.0 (33 $\frac{1}{2}$ 碼) 二月
 220碼 2:16.8 (25碼) 四月
 500碼 5:40.8 〃 〃
 300碼メドレー 3:41.0 〃 〃

七月 ロング・ビーチ(55碼)全米戶外選手權

440碼自由 二着
 (一着マイオラ・カリリ 4:56.4)
 880碼 10:20.4 優勝 世界記録
 1哩 21:27.0 〃
 300米メドレー 4:06.8 〃

同月 ホノルルの國際大會(100米)

800米自由 10:15.4
 1500米 20:06.2
 400米 二着
 (一着マイオラ・カリリ 4:54.8)
 300米メドレー 4:08.4

1931年の成績

440碼 5:02.0 (25碼)
 クラブに勝 三月

220碼 二着
 (一着クラブ 2:18.4)

四月室内選手權(25碼)

500碼自由 三着
 220碼 落選
 300碼メドレー 3:38.5 優勝
 220碼自由 2:17.2 (25碼) 四月
 440碼 5:07.5 〃 〃
 200碼平泳 2:40.2 〃 〃
 2哩 43:45. 六月

今年の成績は昨年よりは少し下つて居る様である。

George Fissler

ヂョージ・フィスラー

ニューヨーク A. C. 所屬

かなり古い泳手で1927年に150米背泳 1:42.0 (25碼)の世界記録を作つて居るが、1928年のオリンピックには代表選手とならなかつた。背泳と短距離が得意である。

1930年の成績

100碼自由 0:54.8 (25碼) 一月
 100碼 〃 0:54.0 〃 二月
 100碼 〃 0:53.6 〃 三月

150碼背泳 1:39.0 〃 〃
 100碼自由 0:53.2 〃 四月
 150碼背泳 1:43.0 〃 〃
 100米自由 二着
 (一着ラーカー 1:02.4) 九月

1931年の成績

100碼背泳 1:05.6 (25碼) 三月
 四月の室内選手權 100碼自由、150碼背泳共に落選
 200碼自由 2:05.0 (25碼) 五月
 100碼 〃 0:54.5 〃 六月

James Gilhula

ジエイムズ・ギルヒュラ

デトロイト市のサウスイースターン、ハイ・スクール生徒

1930年の成績

220碼自由 2:27.8 (25碼)
 800米 12:00.8
 220碼自由 2:24.6 (25碼)

1931年の成績

220碼自由 2:19.4 (25碼) 三月
 100碼 〃 0:54.8 〃 〃
 100碼 〃 0:53.6 〃 〃
 四月の室内選手權には100碼自由落選、220碼自由五着

Donald Horn

ドナルド・ホーン

シカゴのレイク・ショア A. C. 所屬

1930年のセントラル・アツソシエイション室内選手權

220碼平泳 2:55.4 (25碼)

1930年四月 220碼平泳 2:54.2 (25碼)

1931年の全米室内選手權に220碼平泳に出場して豫選に落つ。

John Howland

ジョン・ハウランド

エール大學卒業、現在はニューヨーク A. C. 所屬

220碼自由 2:16.2 (20碼)

1930年二月

100碼自由 0:53.0 (25碼) 三月
 220碼自由 2:18.0 〃 〃
 50碼自由 0:23.2 (25碼)

1930年三月

100碼 〃 0:52.8 〃 〃

1931年の全米室内選手權には100碼自由、220碼自由共に落選。

Maiola Kalili

マイオラ・カリリ

カリリ兄弟の兄、昨年一度來朝したことがある。當時はハワイに居たが其後カリフォルニアに移つて現在ではホリウツド A. C. 所屬。

1930年の成績

六月ハワイシニア選手權

440碼自由 5:08.0
 880碼 〃 10:56.2
 1哩 〃 一着
 300米メドレー 4:13.0 } 水路不明

七月 ロング・ビーチの全米戶外選手權、(55碼)

440碼自由 4:56.4 優勝
 (クラブに勝)
 880碼 〃 二着 (一着クラブ)
 1哩 〃 三着
 220碼背泳 二着

(一着コージャック 2:35.8)

300米メドレー 二着 (一着クラブ)

同七月ホノルル國際大會(100米)

400米自由 4:54.8
 800米 〃 10:15.8
 1500米 〃 20:20.0
 200米背泳 2:39.0
 400米 〃 5:43.0
 300米メドレー 二着

(一着クラブ 4:08.4)

同八月東京、全日本選手權(50米)

400米自由 豫選 5:05.8
 決勝 5:11.6 三着

1500米 〃 〃 21:22.8
 50米背泳 〃 〃 0:34.8
 100米 〃 〃 1:14.4

決勝 1:13.2 優勝

十二月 220碼自由 2:21.0 (25碼)

マニユエラと同着

1931年の成績

100碼背泳 1:03.0 (25碼) 三月
四月全米室内選手権 (35碼)
100碼自由 三 着
220碼自由 150碼背泳共に落選
500碼自由 二 着
(一着クラップ 5:41.1)
500碼自由 5:41.0 水路不明 五月

Manuella Kalili

マニユエルラ・カリリ

マイオラの弟。昨年来朝、現在ホリウツド A. C. 所屬。

1930年の成績

六月ハワイシニア選手権水路不明
100米自由 1:01.2
440碼 三 着
300米メドレー 二 着
(一着マイオラ・カリリ)
七月ロング・ビーチの全米戶外選手権 (55碼) 記録ナシ
同七月ハワイ國際大會 (100米)
{ 100米自由 0:59.6
200米 二着(一着佐田2:18.0)
同八月東京全日本選手権 (50米)
100米自由 豫選 1:00.8
決勝 1:00.6(一着高石)
200米自由 豫選 2:18.0
決勝 2:17.8 優勝
1500米自由 豫選 21:25.6
400米自由 4:53.4
(水路不明) 十一月
800米 10:15.6 〃 〃
100碼 〃 0:52.0 〃 十二月
50碼 〃 0:22.8 (25碼) 十二月
220碼 〃 2:21.0 〃 〃
(マイオラと同着)

1931年4月の全米室内選手権(25碼)

100碼自由 二 着
(一着シュワーツ 0:53.7)
220碼 〃 三 着
(一着シュワーツ 2:16.2)
500碼 〃 四 着
(一着クラップ 5:41.1)

John A. Schmeiler

ジョン・シュメイラー

ミシガン大學生。今年になつてクローラが素張らしく速くなりコーチはワイスミュラーの再来となるであらうと云つて居る。然しまだ何と云つても平泳の方が本職であらう。

1930年の成績

100碼平泳 1:10.8 (35碼) 二月
200碼 〃 2:40.6 〃 四月
220碼 〃 2:56.0 〃 〃
200碼 〃 2:33.2 〃 〃
220碼 〃 3:00.4 〃 〃
200碼 〃 2:39.4 〃 十二月

1931年の成績

200碼平泳 2:34.4 (25碼) 一月
100碼 〃 1:09. 〃 二月
100碼背泳 1:06. 〃 〃
100碼自由 0:54. 〃 〃
100碼平泳 1:08.6 〃 〃
200碼 〃 2:32.4 (20碼) 〃
100碼自由 0:55.0 〃 〃
100碼背泳 1:05.2 〃 〃
220碼自由 2:22.2 (25碼) 三月
150碼背泳 二 着
(一着マッシュ 1:43.0) 〃
200碼平泳 2:33.6 (25碼) 〃
同豫選に 2:31.4世界記録を破る
220碼自由 2:17.4 (25碼) 三月
150碼背泳 1:44.6 〃 〃
200碼平泳 2:34.6 〃 〃

四月全米室内選手権 (25碼)

220碼平泳 2:48.8
{ (一着レオナード・スペンス)
(二着ラルター・スペンス)
300碼メドレー 三 着
220碼自由 150碼背泳落選
100碼自由 0:52.0 (25碼) 六月
220碼 〃 2:14.0 〃 〃

Carl Leedy

カール・リーデー

エール大學生 (三年)

1930年の成績

220碼自由 2:23.4 (25碼) 三月
440碼 〃 5:13.4 〃 〃
440碼 〃 5:03.2 〃 六月
200米 〃 四 着
(一着佐田 2:18.0) (100米) 七月

1931年の成績

220碼自由 2:18.0 (25碼) 一月
220碼 〃 2:17.6 〃 二月
500碼 〃 5:43.0 〃 〃
440碼 〃 4:58.4 〃 三月
440碼自由 5:17.7 (25碼) 〃
220碼 〃 三 着
(一着コージャック 2:16.0) 〃
440碼 〃 二 着
(一着コージャック 5:04.0) 〃
四月の全米室内選手権には 500碼自由に五着

Lloyd Osborn

ロイド・オスボーン

エール大學生

220碼自由 2:20.4 (25碼)
1930年三月
440碼 〃 5:13.6 〃 〃
220碼 〃 2:21.0 〃 十二月
220碼 〃 2:16.0 (20碼)
1931年三月
220碼 〃 2:18.7 (50碼) 〃
220碼 〃 二 着 〃
(一着コージャック 2:16.0) (25碼)
440碼 〃 三 着 三月
(一着コージャック 5:04.0) (25碼)

1931年四月の全米室内選手権には参加せず

Frank Walton

フランク・ワルトン

ホリウツド A. C. 所屬

背泳の泳手。

1930年の成績

100碼背泳 1:03.0 (25碼) 一月
100碼背泳 1:03.0 〃 〃
100米背泳 1:09.8 〃 〃
150碼 〃 1:41.2 〃 四月
七月ロング・ビーチの全米戶外選手権に 220碼背泳に三着 (一着はコージャック 2:35.8)
200米背泳 2:44.0 (100尺) 九月
100碼背泳 1:02.4 (25碼) 十二月

1931年の成績

50碼背泳 0:28.0 (25碼) 二月

日米對抗水上競技トロフィー物語

製作に就いて

構造社 齋藤素嚴

聯盟の田畑さん、私の方の日名子とが話しあつて、今度トロフィーを全部構造社でつくる事になりました。銀の洋盃ときまつてゐる従來の型を破つてその一つ一つの形に意義があり、單に優勝の紀念としての外に、愉快に保存して置けるものにしたら嘸よからうと云ふ、私共の主張と聯盟の希望とがピッタリ合つての事です。

で、私共がこれを作るについて、大體次の三要件に留意しました。

- 一、相當遠見がきくものである事
- 一、近よつて見ても立派な美術品である事
- 一、受取る人がよろこぶものである事

かうした心構へで、十二個のトロフィーを十二人の彫刻家がそれぞれ一つづつ、智慧をしぼり腕を揮つて

短い期限内に作りあげたのが今度のトロフィーです。出来上つたものを見ますと、爵があるかと思ふと銅冑がある。祝部土器に魚が飛んでゐるかと思ふと金の鯨がガツチリ構へてゐる。彩色の木彫があるかと思ふと冑がある。楯がある矛がある。まるで日本の古代文化と現代藝術の總決算の趣があります。その變化の多い事、それが皆トロフィーとしての要件を具へながら、立派に展覧會に出品して威張れる美術品である事、自分で云ふとおかしいが、構造社の連中は頭も腕もあつて、その上にお互ひの仲がいきからかうした事が出来るのだと喜ばずには居られませんでした。と同時にかうした構造社オンパレードの機會を提供して下さつた水上競技聯盟に感謝する次第です。

ア ト リ エ 秘 録

百米トロフィーを作つた濱田先生、石膏は濕ると駄目になるものとは知らず一樽買ひ込むので、いつもグズグズ、「君、俺のところの石膏はいくら堅くなる様に解いても軟いんだヨ」といふ様な呑氣な仁。

二百平泳トロフィーの兩田禎之先生、題して「ガンダス河の水の神様だヨ」といふ。そゝつかしいのが「君、兩田君、君のあのガンダス河の蕨の油ネ……」

百背泳トロフィーの作者杉田忠治先生、出でゝは往年の平泳の強者、入つては構造社の新人として天晴の彫刻家、構造社の連中「杉田君がへー、水泳がへー、出来るのカイ」聯盟の連中「杉田君がへー、彫刻がへー、出来るのカイ」

今度のトロフィーは、いはゞ構造社オンパレード、舞臺監督よろしくの日名子先生「皆、何を作るか、あらかじめ案を聞かせて下さい」一同紙に書いて出したのが、れわれもわれも「人魚の彫刻」日名子先生「これじゃ丸で落語の勘平式だ」「人魚は、チャン拳で一人だけにして下さい」結局清水先生が勝つて出来上つたのが三百メドレーの人魚の木彫。

八百リレーの「鯨」を作つた陽成二先生、有名な釣道樂

だけで、魚の頸の形の講義微に入り細を穿ち「それ鯨は尺にしてよく鯨を倒す……さて皆さん」と懸河の辨、きいてゐた構造社の連中「誰か張扇と湯呑みを持つて来いヨ」

千五百の兜を考えた齋藤素嚴先生、何でも安つばい物はきらひな性格、兜を作るについても、兜の良いモデルが手近にはなし、弟子が見るに見かねて「先生古道具屋で探して來ませうか」「そんな古道具屋にあるなんて、ベツボコのかぶる様なのはいやだよ君、こう金覆輪の鞍にまたがつた大將のかぶる奴でなくちゃー」側から口の悪いのが「イヨー腰ぬけ大將」註に曰く齋藤先生は持病で腰をいためてゐる。

さて頭の良い研究員の石躍氏上野の博物館に飛んで「ここにある一番立派なのを寫生させて下さい」と何とかいふうるさい代物を別室にかつぎ込んで貰つての寫生、所が周圍に七八人の金ボタンのいかめしい看視、石躍氏述懐して曰く、「あれじゃー丸で私の飛白の着物が濫色に見えましたヨ」

四百の作者日名子先生、モデルの飛魚が夏分腐れ安いのので午後になると鼻持ちならぬので、魚屋に連日飛魚の注文魚屋氏其後も「今日は飛魚の御用はありませんか」

早慶戦感想

早大水泳部 藤田 明

最後の八百リレーの両アンカー、早の横山、慶の野田君が體を連ねてゴールに殺到した刹那、私の張りつめた氣力は一時に弛緩した。八〇——五六。二四點の差は接戦と言ふにはいさゝか差があり過ぎる然るに私はまるで敗者の如き暗愴たる氣持に閉ざされてしまった。過去四ヶ年偷安の夢に酔ひしれて、迫られる事なき心境に慣れて來たせいかも知れない併し慶應の彼の迫力、飽く事を知らぬ追撃に遇ふては、無敵を誇る我が陣營も幾度か崩れんとした。全く豫期せざる此の急追が、私を敗者の心境に引き入れたのだ。更に識者の批評眼は「早大の不振、慶應の奮戦」に一致したかの如く、翌廿二日の紙上で我々は組上の人となつたのである。私は塾の擡頭を無條件で祝福すると同時に、早大不振の聲を一身に甘受しやう。而も今靜かに戦の跡を辿つて不振の因を尋ね、今夏今秋の諸競技會に具へるのは、決して無意義な事ではあるまい。

先づ第一に慶の好調に對し、早のスランプを挙げたい。早慶戦が毎年六月第二日曜に行はれるのを恒例とする關係上、今年も（本年は神宮プールの竣工を待つため、一週間延期され第三日曜に行はれた）我々は不識不識、十日前後に最好調を運ぶ可く練習を積んで居た。此がそもそもの蹉跌を來す因であつたらう。事實メンバー交換の直前、最後のレコードデーたる十日には、一同はち切れるばかりの元氣で殆んど全員が自己記録を破る程の物凄い好調にあつた。ともあれ、試合をチームの最好調に持つて行かれた慶應野田主將の練習の指導に對しては、全く敬服の外はない。

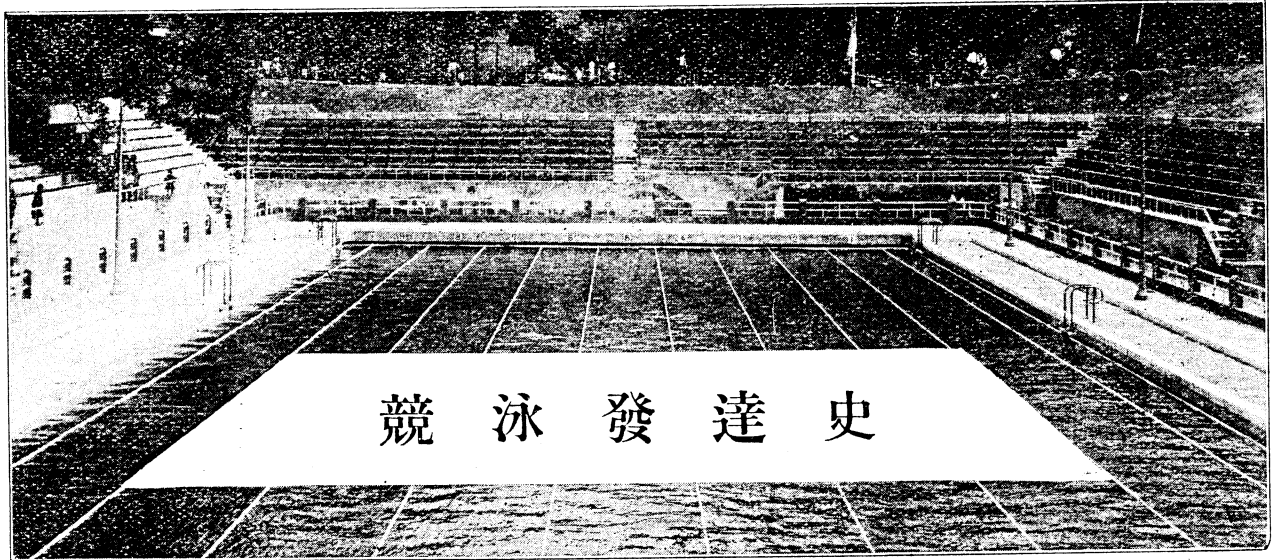
第二に、最初のレースたる四百米の番狂はせを指揮出來やう。最初のレースの成敗は、かなり鋭く全員の士氣にこだまする。其を考慮して出場メンバーには細心の吟味を加え、横山、米山、坂上の三人に我軍は全勝を期した。元氣と傳えられた山川よりも未知數な丈け新進小森の方が警戒せられたが、元來彼はスプリンターなので、先づ先づ中距離泳者坂上の敵ではないと思つて居た。レースは最後のラツプまで平調に進んだが、その頃から病後の坂上に疲れ

が見え、火の出る様な競り合ひの後、タッチの差で小森に名を爲さしめた。此の瞬間早大が受けた「塾意想外に強し」の觀念と、慶應が受けた「早大與し易し」の直感が、最後まで或る程度の支配力を持つたのではあるまいか。併し乍ら坂上獨りに責を負はすのは可愛想だ。彼はその直後に於て水球に参加し大童の奮闘を試みて、我軍のため四ゴールを陥れるの武勳を樹立し、立派に彼の責任を果して居る。要するに全員にこの妄想を卻ける丈けの氣魄があれば尤に試合を有利に導く事が出來たのであらう。

最後に我々の持つ最大の原因は、同日に競泳、水球の二選手權競技を行ふの不利にある。昨年初めて加えられ、競泳と同等の地位に置かれた水球に於て我々は塾の如き専門のチームを持たず競泳選手を併用せねばならぬのは、何と言つても大きな傷手である。即ち竹林、松本、坂上、高橋等を競泳、水球の二競技に起用したので、從來の如く競泳専心に練習せしめる事が出來ず、我が陣容に取つては非常な苦痛だつた。更に昨年の早慶戦に於て失つた水球選手權を、是非とも奪還せねばならなかつたので、上記の諸君は競泳を半ば犠牲にした形だつた。いはゞ我々が兩選手權を掌握して「早大の完勝」を確立するためには、これ丈けの犠牲は當然拂ふ可きでありメンバー遍成上の惱みも又こゝに在つたと言つてよい。この犠牲は忽ち報ゐられ、我々セヴンは六——二と云ふ未だ曾てない大スコアで宿敵慶應を一蹴し去つた。此に依つて始めて完勝の觀喜を我々は贈られたのである。早大の不振！此には理由がある。少くとも我々には釋明すべき理由があつたのだ。第五回早慶戦は早大にとつて眞に不振の戦ひであつたかも知れない。併し又、一步觀戰の方向を轉ずれば二年振りに味ふ完勝の勝ち軍であつた事を私は信じて居る。

終りに塾の總帥野田君を筆頭に、心憎き迄健闘された河石、根來、小森君等の恐るべき戰鬥力、更に塾軍にたゞよふフェアプレイの大精神に、心からの敬意を拂つて止まない。

目次に戻る



競泳發達史

市 村 魁 山

第一章 競泳勃興時代(自明治年代至大正十一年代)

第一 黎明期の競泳界(明治年代)其の二

(3) 競泳界の曙光

明治の水泳界を通観するに、三つの潮流を發見する。(1)は心神鍛練に重心をおく遠泳、(2)は水心一致の境地を拓く游泳演技、(3)はスピード本位の競泳、即ち是れである。遠泳はわが傳統的思想から見ても、海國男子に相應しいものである故、舉國流行の盛況を呈したけれども、反之競泳は近世歐洲諸國に於ける、體育運動勃興の所産であつて、スポーツに理解のなかつた當時のわが國狀に副はず、且つ游泳演技と異なり、單調で變化に乏しい憾みがありまれに良き指導者と良き競泳池を持たぬことが、因果關係を爲して發育不全をまぬかれなかつたのである。併しながら陸上競技の勃興につれて、不遇の裡にも漸次「競技化せる水泳」の實現に近づいた。殊に明治31年32年兩度に行はれた、太田派と外人チームとの對抗仕合は、黎明を告ぐる鐘であつて、二ヶ年連勝の餘威をかる太田派は、翌33年8月に、濱町河岸なる同派水泳場に於て、水上競技會といふものを催すに至つたのである。

各派聯合水上競技會(明治33年8.28日濱町)

之れは各流派を網羅する最初の試みであつて、之れに依つて互ひの障壁を徹し、競泳用の泳法統一の端緒を開き、爾後各流が遠泳のほか、スピードの練習に移る導火線となつたのである。此時の會は午後

一時から開始され、50碼から880碼に至るもの數十番、各派の模範演技もあつて盛況を呈したが、競泳はタイムを取つたか否か不明である。翌34年8.25日にも、此種の競技會を催したが、前後15番の競技のうち、清田清人の3人抜600碼競泳及び杉村陽太郎の甲冑泳、持永政人の立體武裝が喝采を博した。其他慶應義塾水上運動會を初め、重なるものを挙げれば

- (1) 慶應義塾水上運動會 (35年8月創始葉山)
- (2) 帝大水泳會 (35年8月創始戸田)
- (3) 大阪灣拾哩競泳會 (38年8.20日大阪)
- (4) 關東聯合水泳大會 (40年8.5日創始北條)
- (5) 濱名灣聯合水泳會 (44年8.13日辨天島)
- (6) 速力檢定大水泳會 (44年8.18日芝浦)

慶應義塾水泳部は、相州葉山森戸濱に水泳場を有したが、他校に卒先して水上運動會を創め、競泳其他の水上演技會を毎年行ひ來つた。併し競泳といふ方面から見れば、部員丈けの小規模のもので、特筆の價值はない。同校水泳部の特徴は、寧ろ遠泳にありと云ふべく、38年第一回遠泳會を催して以來、年中行事となり葉山江の島間3哩、葉山鎌倉長谷間6哩等の遠泳は、當時有名なもので毎年レコードの短縮を見た。

帝大水泳部は26年の開設にかゝり、伊豆半島戸田灣の一角にあつて、駿河灘の荒浪を御濱岬にくひ止め、靜かな鏡の如き理想郷である。此處の水泳會は大正6年滿20週年紀念として、各學校を招待して大競泳會を催して以來、盛大となり大正9年茨木中學

が参加し、一高及び安房中學と共に覇を争ふた頃が全盛期で、大正11年頃には、萬朝報社の全國學生大會、濱名の大會、體協の全國水泳大會等屈指の競泳會に壓倒されて、衰微したのである。

濱名の辨天島も屈竟の水泳場であるが、35年夏遠州學友會水泳部と濱松一中水泳部の對抗競泳があつた、之れは選手双方6名宛で50碼の競泳を試みたものであるが、44年8月には濱中の水泳部員だけでも200名に達し、他校と聯合の競泳會を催し、毎年續けて來たが遂に大正2年に至つて堀江耕三氏主唱の下に、濱名灣游泳協會を創立したのであつた。

大阪毎日主催の拾哩競泳は、前後二回行はれたが之れは遠泳のスピード化とも云ふべきもので、例令全泳しても4着迄より入賞せぬもので、在來の遠泳とは趣を異にせるものであつた。關東聯合水泳大會は、房州北條に於ける、高師一高が盟主となつて、外語安房中、開成中其他を聯合して行はれた。之れは大正前半に於ては、かの戸田の帝大水泳會と共に屈指の大會として毎年行はれ、北條戸田中心時代を現出したものであつた。速力檢定水競大會は、時事新報主催に係り、レコードの嚴密なる點では、他に比類がないが、惜しいかな一回限りで跡を絶つたのである。

有名な長崎游泳協會は、36年7月1日に産聲をあげ其他游泳團體續出し、小規模ながら競泳會の流行を來したのである。以上のうち(3)(4)(6)は、代表的のもので當時を偲ぶ、よき資料であらう。

(4) 代表的競泳會

大阪灣拾哩大競泳會 (明治38年8月20日大阪)

此の競泳が在來の遠泳と異なる點は、参加選手が全國的なこと、單に全泳するに非らずして、順位を競ふスピード本位なることである。大毎がわが競泳界に貢獻した功は没すべからざるものがある。同社は此の大競泳會のほか、大正3年8月9日には濱寺に於て、第一回關西中等學校聯合水泳大會を創始し、後に全國中等學校及び全國水泳大會と改め、年中行事として關西に於ける競泳勃興の主周を作り、岸和田中の齋藤巍洋、和歌山中の西本龍三、茨木中の高石勝男、同志社中の新井信男木村象雷を初め幾多の選手を輩出したのである。

さて拾哩競泳に先だち、全國から馳せ參じた、各流の代表選手を身體檢査の上選抜し、更らに大阪中の島に於て、豫選を行ひ嚴選の結果28名を合格者と決定した。之れを地方別とすれば、京都7名、神戸

7名、大阪5名、和歌山3名、東京2名、名古屋、伊勢志摩、横濱は各一名、東京からは杉村陽太郎、鈴木和志理の2名が合格した。出發點は大阪築港棧橋、第一區間は武庫川出洲、決勝點は住吉川尻出洲、長汀曲浦艇々として拾哩のコースを取り、浮標を泛べて水路を明示し、各選手に附添船を附した。午前8時20分出發し、第一區間では關東の水府流代表杉村陽太郎が先陣を承はつた。時に午前10時45分、轟砲一發先頭通過を知らず。其頃から大雨洋然として海面を打ち、氣溫著しく低下した爲め棄權者續出し、午後一時過頃雨はやみしも、全泳者は僅々7名に過ぎず、他は皆船上に收容された。是れを以ても此競泳が、如何に難事業であつたか判るのである。杉村選手は午前8時38分出發以來、午前9時20分頃から終始先頭を切り、水府流一重伸を以て、遂に泡立つ拾哩の海を征服して、第一着の榮冠を勝ち得たのである此の偉丈夫の所要時間6時間8分であつた。

第一着 杉村陽太郎 (午後2時45分着)

東京法科大學生21才

第二着 澤田定吉 (午後3時8分着)

大阪水泳教師18才

第三着 金子宗吉 (午後3時11分30秒着)

大阪商船社員17才

第四着 篠田行藏 (午後3時45分30秒着)

京都一中生19才

以上入賞

第五着 高谷高義 (午後3時57分着)

京都一中生19才

第六着 鈴木和志理 (午後4時7分55秒着)

東京工科大學生25才

第七着 井上主計 (午後5時9分50秒着)

志摩商船學生20才

一着は大毎の賞金300圓、其他四着まで夫々賞金及金銀メダルを授與され、五着以下は銀盃吳服類等、其他各選手は山の如き寄贈品を受けて面目を施したのである。

第二次拾哩大競泳會 (大正4年8.22日大阪)

これは大正年代のものであるが、参考の爲め採録する。

關東からは其前年上海の第一回極東大會で勇名を謳はれた、横濱の鵜飼彌三郎を初め、萩原誠一郎、青木忠治濱名からは内田正練等が参加し、其他全國の錚々たる猛者が20餘名、午前10時16分號砲を合圖に、堺大濱を出發し一齊に突進した。關東の鵜飼選

手が優勢で、大津鼻の回轉地點までは、斷然群を抜いてゐたが、突如人事不省に陥つて收容された。かくて無名の少年池田英雄が第一着の榮冠をかち得たのである。池田少年は和歌山中學四年生で、同校8哩遠泳に合格し、また其頃武徳會の競泳會でも優勝した若武者であつた。所要時間5時間40分。

第一着 池田英雄 和歌山中學生 17才

第二着 内田正練 濱名灣游泳協會 19才

第三着 青木忠治 横濱體育研究會 19才

第四着 吉川重次 濱寺水練場 18才

第五着 桑山正道 同所 17才

關東聯合水泳大會 (明治40年8.5日創始北條)

房州北條鏡ヶ浦は其名の示す如く、海波平穩で屈竟の海水浴場であつた。東京高師水泳部の開設は26年の事で、かの戸田の帝大水泳部開設と同時代である。39年には其發展と共に八疊八室を有する別宿舎を建て、42年には130疊敷の二階建一棟を増築し圖書館を初め各種游泳材料をも備へ、芳躅舎の石碑は苔蒸して、同校水泳部の誇りを傳へてゐた。流派は太田派を主とし、觀海小堀もあり、各流の粹をとつて實用を旨とし、一種の高師流を創造してゐた。部員の等級は帽子の色を以て區別し得た。初歩豫習生は赤、5級は白、4級は白に赤線一本、3級は同じく二本、2級は白に黒線一本、1級は同二本、初級は純黒に白線一本、之れは免許皆傳格である。師範は黒に太き白線二本、花田英太郎、野口源三郎、佐藤三郎、松本正、山崎光雄、大谷武等の面々が師範たりしは、大正2年頃のことである、一高水泳部開設も高師と同時代で、芳躅舎から數丁距てた海濱に、詠歸寮とよぶ寄宿舎があり、大正2年頃は法學士末弘嚴太郎氏が監督として、獨特の一高流を發揮し、高師開成中、安房中、川越中等の健兒と對峙した。

かくて北條は學生町を現出し、夏季の盛況は凄しいばかりであつたが、茲に高師一高が盟主となつて40年8月5日を期し、各學校聯合の大水泳會を創始したのである。「第一回」は高師同附屬中一高川越中安房中府立一中等が参加し競泳のほか、水上演技あり「第二回」は41年8月15日で、30碼、50碼、100碼(1分6秒)200碼(2分30秒)の競泳があつた。「第三回」は42年8.12日にして、外語高商埼玉師範同中學川越開成の各中學のほか、游泳協會も参加して範圍が擴まつて來た。レコードは前回より潮流の關係で良くなかつた。50碼41秒福原喜一(安房中)100碼1分22秒吉田保(高師)200碼3分4秒笹木常市(安房中)であつた。

水上游戲としては、安房中の蓮華水瓜取、開成中の筏合戰龍戰、高師の雁行筏角力、一高の打球ウオータポロ等であつて、此種のものは各地に行はれてゐたのである。

第五回關東聯合水泳大會 (44年8月15日北條)

明治時代に於ける最後の大會で、之れによつて大略全般を推知し得るであらう、此日朝來暗雲低迷、午前9時40分開會するや、雷雨しきりに至つたけれども、敢然として遂行した。開會に先だち高師安房中開成中の三校生徒は、海岸を距る四五十間の處に漁船を以て圍める競泳場を設け、中央正面は各講師を始め、各新聞記者席となし、其隣りの右方を來賓席とし、右側を生徒の觀覽席とした。競泳場は長さ50間巾20間である。進行係はメガホーンを以て開會を宣するや拍手喝采やまず、本田水沼兩氏は船上に控へて審判に當つた。午前中高師外語川越中生徒の觀海平泳、神傳水府の片拔手双拔手、平體高環伸立泳等の游法演技あり、大雨に屈せず直飛曲飛順下逆下等數番、零時20分休憩、競泳は午後に行はれた。

50碼 30秒0 山口文次郎 (安房中)

100碼 1分7秒0 小原益雄 (同)

200碼 2分44秒4 川田洋次 (同)

2分45秒2 水野智彦 (高師附屬中)

2分49秒2 笹木常市 (安房中)

此時潮流一分間の速度15碼にして、各選手は潮流に順つて泳いだ、最後に各教師の模範水泳あり午後五時閉會す。此の大會は、極東大會の刺激を受けて大正6年以降から活氣を呈し、かの帝大戸田の大會と相呼應して、我が初期の競泳界に重視された。高師の齋藤兼吉山本隆一、一高の松澤一鶴澤田武治藤田信雄、安房中の福原喜一池谷謹一能重道太郎等幾多の選手を輩出したものである。

速力檢定大水泳軍 (明治44年8月18日芝浦)

競泳場の不完全は、潮流其他の影響によつて、正確なレコード競泳の發達をおくらせた。時事新報社は之れに鑑み、嚴密な計時の下に大競泳を催す事とした。之れは遠泳臭を脱せぬ拾哩競泳や、不完全な他の競泳會と異なり、明治年代に於ける唯一無二のものであつた。「選抜試験」8月15日芝浦に於て行ふ。ロセツタホテル(繫留汽船を以てホテルを經營せるもの)と埋立地との中間海上に、船及び丸太で圍んだ競泳場を設け波浪や塵芥を防いだ。東南隅を出發點、西南隅附近を220碼の到着點、其中間を100碼の到着點となし、發着點には大傳馬二隻宛を泛べ、

レコード報告板を陸上に設けた。南北約20間を審判席其他に宛て、橋場練武館長深井根之助、御濱御殿水泳場長溝口幹知、其他各流の大家列席、此日の天候は朝來風強く晴れてゐたが、午前十一時頃南風強くなり暗雲低く垂れ、午後一時頃からは風鎮まり、水泳日和となる。

午後二時一發の銃聲と共に 200碼選抜試験を開始す。選手は埋立地東端より船に乗じて出發點に達し舷側に並列して合圖と共にスタートを切るのである 200碼は10人宛6組で終了し、更に100碼を10人宛9組行ひ、午後四時終了した。當日の風速潮流を參酌し審判員は 200碼4分29秒以内のもの17名、100碼 1分50秒以内のもの17名を選抜した。何分レコードの觀念杜撰なりし當時であつたから、此會のみは嚴密にやる意氣組で、スタートには齋藤房次郎(慶應水泳部師範)後藤武保(共修會師範)の兩審判、ウインニングラインには會長海軍少將鐺木誠氏を初め、仲野秀治(共修會師範)鈴木和志理(工學士)本田存(高師水泳部師範)が、一秒の誤差なきを期して控へてゐた。此の時の通過者は34名で、之れに各地水泳師範の推薦者26名を加へ、合計60名(100碼200碼各30名宛)を以て本競技を行ふことになつた。

100碼 30名

磯邊利直	飯塚隆次	伊藤重太郎
西川友徳	岡本文雄	岡田幸太郎
小澤守次	高木福太郎	高木豊造
高瀬信郎	高關俊三	田中信一
根岸英資	永井信郎	中原實
武藏野三代次	薄井勇三	國友勇夫
薄井喜代太郎	窪田潔	柳澤徳次
柳田徳榮	松村松之助	福原喜一
佐藤正男	京田武勇	北島昇
平岡義文	元泉馨	森繁

200碼 30名

磯部六郎	萩原誠一郎	西村四郎
岡田穎雄	和田貞次郎	上村益郎
川名洋次	神作龍貫	武田三男
高橋清次	中村恵太郎	村上柳治
鵜飼彌三郎	植木慶次郎	梅原泰次郎
山田久次郎	柳箸勇造	山田三吉
丸山神次	小林虎之助	腰山金男
粉川金太郎	栗谷三男	笹島治兵衛
笹木常市	崎尾龍太郎	佐藤幸雄
水野智彦	平野豊	宮崎巖三郎

「本競技」8.18日午前十一時から絶好の日和に恵まれて、100碼より開始された。スタートには本田後藤仲野の審判員乗船し、鈴木氏是一秒の誤差もあらせじと、ストップウオッチを握つてゐた。3名宛10回

30名を検定し午後零時25分おはる。同50分より決勝線を 200碼にかへ、再び30人宛10回29名(笹木病氣欠席)の検定を終つたのである。

此日の潮流は泳着時間即ち I23等の順序に異動を與ふるものでないと知り下の如く決定發表された。

100碼 (1) 1分18秒 國友勇夫 神傳流

(神傳流游泳會員 早稻田理工科生)

(2) 1分19秒8 飯塚隆二 笹沼流水府流

(日本游泳術研究會 開成中學出身)

(3) 1分20秒4 福原喜一 神傳流水府流

(安房中學第三年生18才)

200碼 (1) 2分32秒 鵜飼彌三郎 向井流水府流

(横濱忠泳館 國民中學會)

(2) 2分53秒8 平野豊 向井流水府流

(日本游泳術研究會 成城學校出身)

(3) 2分59秒 萩原誠一郎 向井流水府流

(横濱忠泳館 神奈川縣立一中生)

100碼競泳で國友は第2回組、福原は第3回組、飯塚は第8回組であつて、1分10秒臺が2名、外に25秒以内3名、30秒以内が13名で、最下等は8回組1分40秒4の伊藤重太郎であつた。

200碼では2分臺は僅かに3名、他は3分10秒を切つた者7名であつた。即ち

3分3秒3 磯部六郎(9回) 3分4秒3 植木慶次郎(8回)

3分4秒4 腰山金男(3回) 3分5秒1 岡田穎雄(10回)

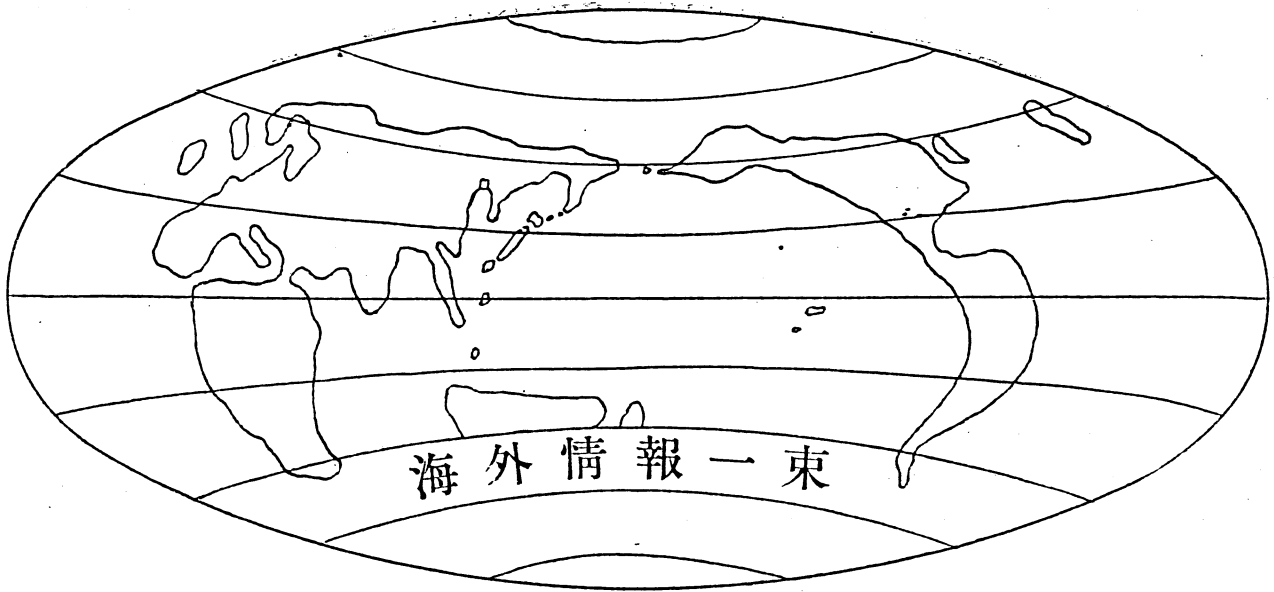
3分6秒2 山田三吉(2回) 3分8秒4 水野智彦(5回)

3分9秒3 高橋清次(4回)

他は何れも10秒以上で、最下等が4回組の3分45秒崎尾龍太郎であつた。

(5) 泳法の革新

我國の競泳は、水府流其他の在來の泳法で行はれてゐたが、米國では既に1904年(明治37年)春、オーストラリアンクロールの移入があり、紐育のアスレチック俱樂部で盛んに研究された結果、自身すら豫想せぬタイムを得られたので、國內各方面の水泳團體に普及され、アメリカンクロール新泳法を樹立するに至つた。而して短距離ではダニエル氏が100碼に55秒4を得、220碼では2分28秒3を更に3秒短縮した新世界記録を生み、長距離でもマラソン拾哩にクロールの勝利に歸し、競泳に横體伸を用ふるは兒戲に類すと迄に云はれ、アメリカ式クロール萬能時代に入つたのである。我國は大正9年安府のオリンピック競泳に参加以來、漸くクロールの研究に入り、大正12年頃から全國に普及され、俄然記録の躍進を見たのである。(つゞく)



海外情報一東

タリスとユストリの一騎打

イタリアのユストリが急激に強くなつて最近 400米自由を 4:52.0 で泳いだので、先日 400米の世界記録を作つたフランスのタリスの好敵手と見られて非常な期待を以て二人の 400米競泳がニースで行はれた。ユストリは 200米迄はタリスと離れず迫つて居たが、其以後疲れて完全にタリスに敗れた。タリス 200米のラップタイムは 2:17.0 で又新世界記録を作ると思はれたが結局 4:49.4 でアルネ・ボルクの 4:50.3 は破つたが自分の作つた世界記録 4:47.4 (F.I.N.A. からの報告は 4:47. とあるが 4:47.4 の方が正しいかも知れない) を破ることは出来なかつた。ユストリのタイムは 5:00.4 であつた。

南加州選手権

南カリフォルニア A. A. U. のシニアー選手権でホリウッド A. C. のマイオラ・カリリが 220碼自由で 2:19.0 で優勝した。二等クラブ(ロサンジュレス A. C.) 三等マニユエル・カリリ(ホリウッド A. C.)。十呎飛板飛込はロサンジュレス A. C. が三人共入賞した。一等マイケル・ガリツエン、二等ジョン・ガリツエン、三等ハロルド・スミス。女子競泳ではロサンジュレス A. C. のオリグ・ハッチ嬢が 100碼自由 1:05.4 ノーユニオン湖水泳クラブのノリーン・フォーベス嬢が 220碼自由で 2:48.4 優勝した。

フランス中等學校

フランスの中等學校選手権はパリの 25米競泳池で行はれた。100米自由 1:06.0 ボロツコ、200米自由 2:35.8 ゴーネル、100米背泳 1:19.0 アルベルト・ファイユ、女子 100米自由 1:16.0 ホロン嬢。

二哩競泳

カリフォルニア・ハーモサ・ビーチで行はれた二哩競泳に男子はクラレンス・クラブ

43:45. で優勝した。女子は一哩半競泳を行つたがノリーン・フォーベス嬢が男子 2哩と同じタイムで優勝した。

スペイン兄弟の活躍

ニューヨーク A. C. のレオナード及びラルター・スペイン兄弟はウッドサイドの 25碼競泳池で行はれた競技會で新記録を作つた。200碼平泳でレオナードは 2:30.2 の新記録を出し舊記録 2:31.8 を破り尙シユメイラーの 2:31.4 を破つた。(シユメイラーの記録は未公認であつた) ラルターは 150碼メドレーで 1:38.2 の記録を出し、彼自身の保持して居る 1:38.8 を破つた。然し遺憾な事には A. A. U. 規則によれば使用した時計は總べて競技會の前一週間以内に指名された検定員の手によつて検査されたものでなければ公認記録として採用されないで、折角な好記録も公認となる資格を失つた。

パリ大賞牌競泳

毎年パリで行はれる、パリ大賞牌競泳—1928年には我高石選手がグランプリを獲得した—は本年はアルゼンチンのアルバート・ゾリラが出場するのでハンガリーのバラニー及びフランスのタリス三雄で争ふことゝなつた。該競泳は 100米自由一種目である。

ステファン・バラニー

100米自由の歐洲選手権保持者であるハンガリーのステファン・バラニーはブダペスト 50米競泳池で 100米を 0:58.4 で泳いで彼の保持して居る 0:58.6 の歐洲記録を破つた。此記録はワイスマユラーがプロフェショナルとなつた今日、アマターでは比肩するものゝないものである。尙バラニーは週日前にウィーンの 25米競泳池で 100米 0:58.6 の對記録を出した。

英國のホワイトサイドはマンチェスターの米競泳地で440碼競泳に5:22.8を出してハットフィールドが保持して居る英國記録を破つた。

スウェーデン、ストックホルムの25米競泳地で行はれた競泳會で、ペテルソンは200米自由2:19.4、ハイネル200米平泳2:52.0、500米平泳7:55.7、ルンダール200米背泳2:42.0の新記録を出した。ペテルソンは最近100米自由に0:59.8の新記録を出した。

英國は本年八月パリーで開かれる全歐洲選手権水上競技大會に選手を送らない由である。其理由は女子選手五名以外の旅費が出ない爲ださうで、従つて英佛對抗水球試合も見合せとなつた。

イタリーのワルテル・ファシネツチは最近100米平泳に1:20.8のイタリー新記録を出したがボロニアの33½米競

泳池で400米平泳に6:48.4の新記録を出して6:49.0の舊記録を破つた。

本年八月パリーで開く全歐洲選手権水上競技大會の開催費用としてフランス體育局はフランス水泳聯盟50,000フランの補助を出した。

濠洲シドニーの55碼競泳池で開かれたニューサウスウェールズ選手権大會でノエル・ライアン及ヴィクター・ベソモ(兩人共15年)は880碼リレーメンバーとして220碼を2:20.6及び2:24.0で泳いだ。ライアンは未公式にチャールトンの2:22.8を破つた。濠洲の水泳専門家は、ライアン、チャールトン、ベソモ及びオーエン・グリフィスの四名でリレーを作れば880碼が9:31.4になつて有望と考へて居る。四人共に來年のオリンピックには参加來出る由である。

(7頁ヨリ)

50碼 〆 0:28.2 〆 三月
四月全米室内選手権(25碼)
150碼背泳 二着 1:41. 以上
(此時一着ローファー 1:39.9)
尙1929年 200米背泳 2:42.0 (50米)の成績あり。

以上甚だ雜然としたものであるが参考の材料になれば幸甚である

米國は碼制の水泳池が多い關係上時勢後れな碼制の競泳が多くて比較上不便が甚しい。一々米制のものに計算しなほして出来るならば50米水路に換算して比較したいのであるが時日を要するので其儘掲載することにした。最後に換算に便の爲めに碼と米との比較を掲げて置く。

碼	米
100.	91.44
150.	137.16
200.	182.88
220.	201.17
300.	274.32
440.	402.34
500.	457.20
880.	804.67
1000.	914.40
1760. (1哩)	1609.34

例年の如く今年も文部省主催の水泳講習會が神宮プールで七月一日から九月まで行われた。

此年は競泳同様ウォーター・ボロも大いに普及せしめる事になり吉本、杉田、安部の三君が毎日プールに現れて、ヤレ、ゴールスローのコーナースローのと色々説明よろしくあつて一日インターカレッジの早、慶、帝の猛者を集めて混合の赤白模範試合を行ふ事になつた。

講習員に對する説明役は安部君、審判は杉田君。さて杉田君赤白兩軍を水に入れ試合開始の笛を高らかに吹いたまでは良かったが。

ボールを投げ入れ様と思つて附近を見渡すと、つい先程まで足もとにゴロゴロしていた七、八個のボールが一個も見あたらず。

テヘツとばかり、大あわてにあわてれば、説明役の安部君もあわて、「要するに審判員をやる場合、足もとに球の無い時がシバシバあります、その時は先づ、かくの如く中止となります……」は苦しい苦しい。

誰もが云ふ事であるが始めて聯盟の事務所に顔を出

す人はキツト學生聯盟主事の野村憲夫君を關東水泳協會主事の小林榮三君とを間違へるそうだ。

良く見るとそんなに似ているとは思へないが遠見が似ているとの由。

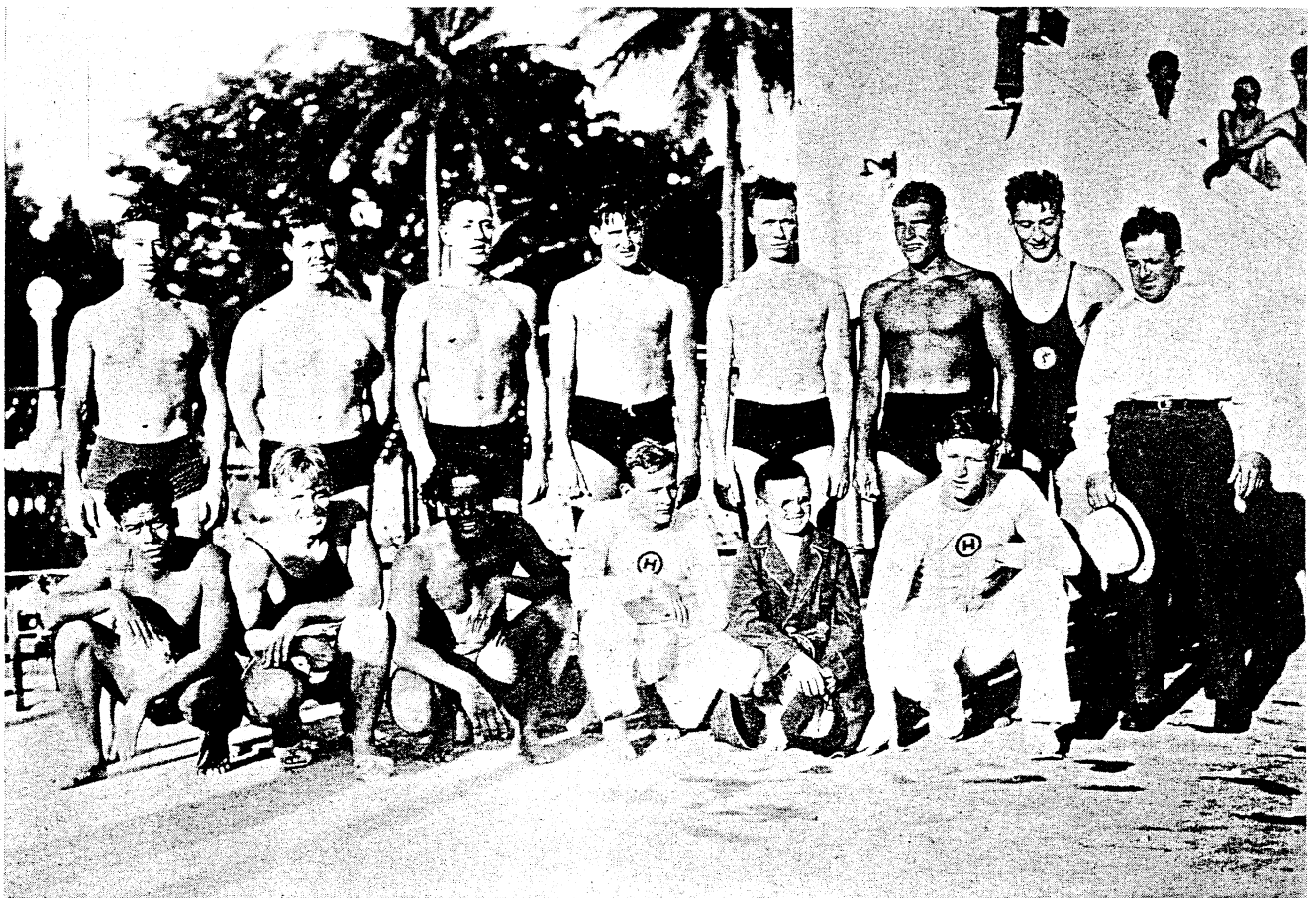
そこで野村君答へて曰く「俺のヒゲを見てくれ小林君には無いのだから」小林君答へて曰く「俺の腕の線のデリケートの處を、知らないねー」

此を聞いた者アワテ、逃腰で曰く「ウヘーたまらねー」

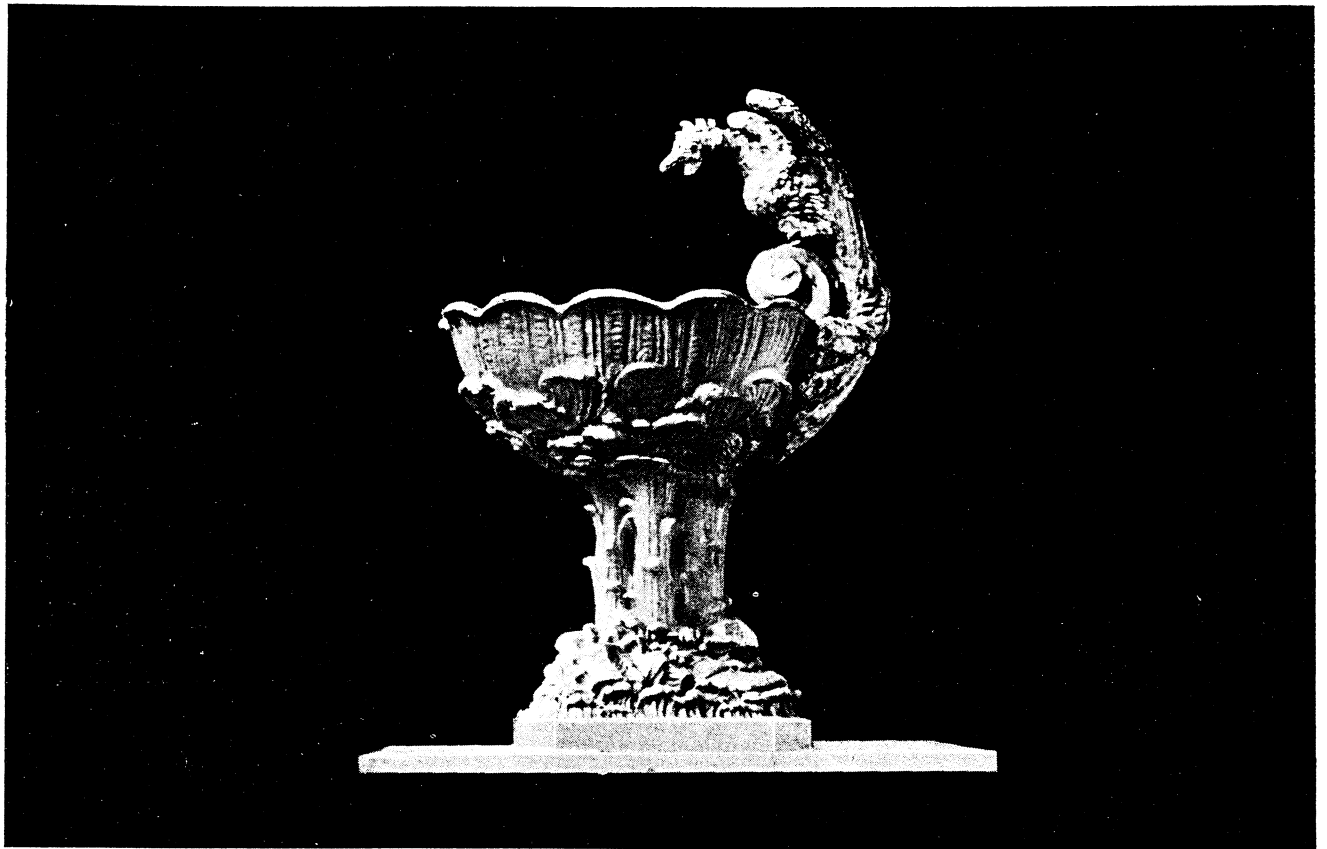
銀座の松屋で七月二十五日から水上競技聯盟主催の展覽會が開かれる事になつた。例によつてかゝる催し事の準備は松澤一鶴氏が務めなければ如何とも出来ない依つて登場した鶴さん、フトツタ身を松屋の七階事務所に毎日通つて集つて來るメタル、寫眞をアレ、コレと手分けしている。そのうちに御自分の若い時代の寫眞を見つけ、ツクツク眺めていたが「俺もスラリとしていたねー」註に曰く松澤氏は御承知の如く二十五貫の大男で御座る、榮養宜敷く丸々と育つた。

Photo Suitei

全勝を期して來朝したる米軍の勢銳



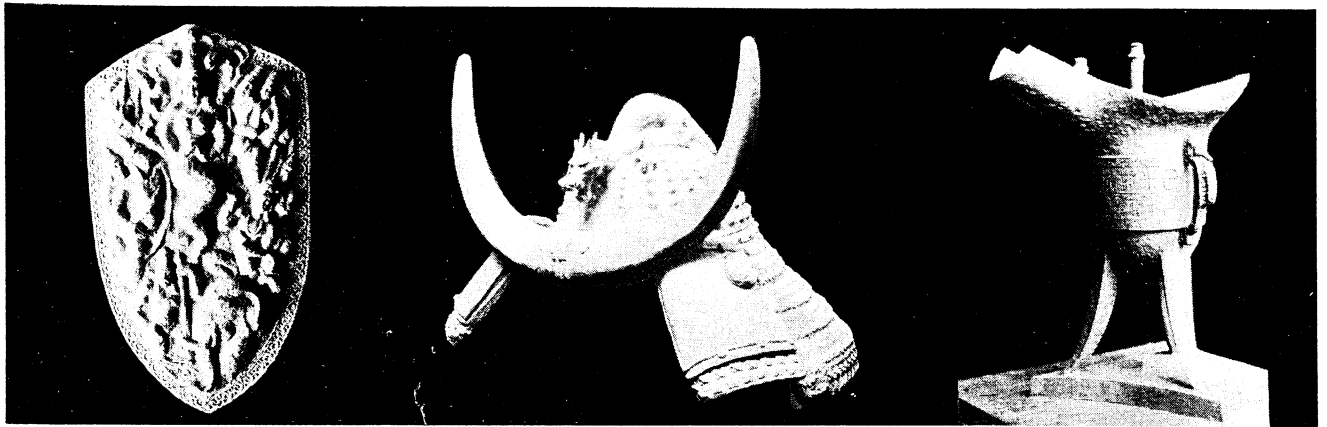
前列左ヨリ カリリー弟、ドナルド、カリリー兄、シュモラー、デラーキプス、フィスラー、
後列左ヨリ オスボーン、ギルヒユラ、ホーランド、クラツプ、キプス、



秩父宮賜盃原型

日米對抗水上競技大會優勝盃

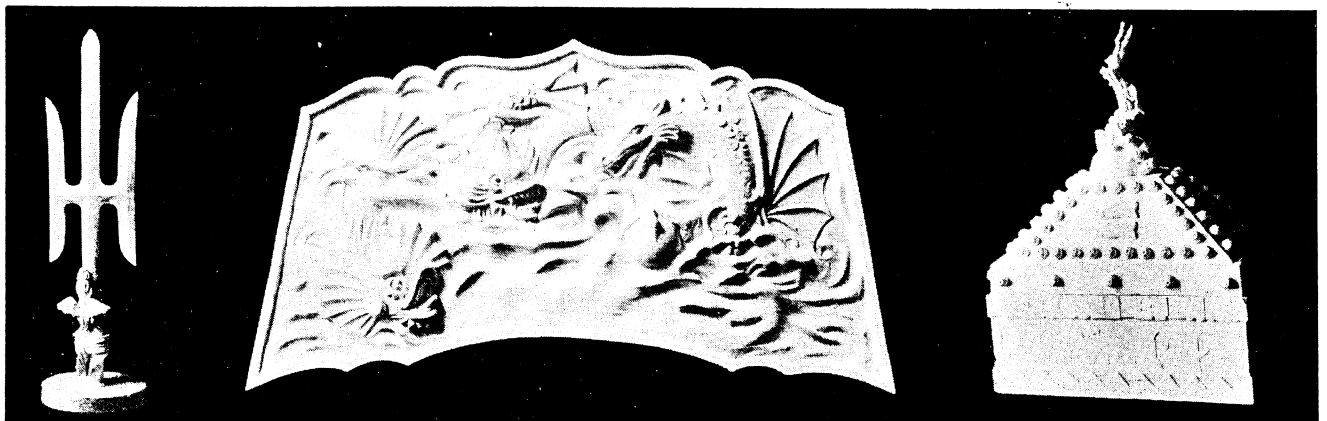
鳴下解治氏作



二百米平泳「ガンヂス河の水の精」
日米協會長徳川公爵寄贈
雨田禎之氏作

千五百米自由型「兜」
大日本體育協會長岸博士寄贈
齋藤素巖研究所作

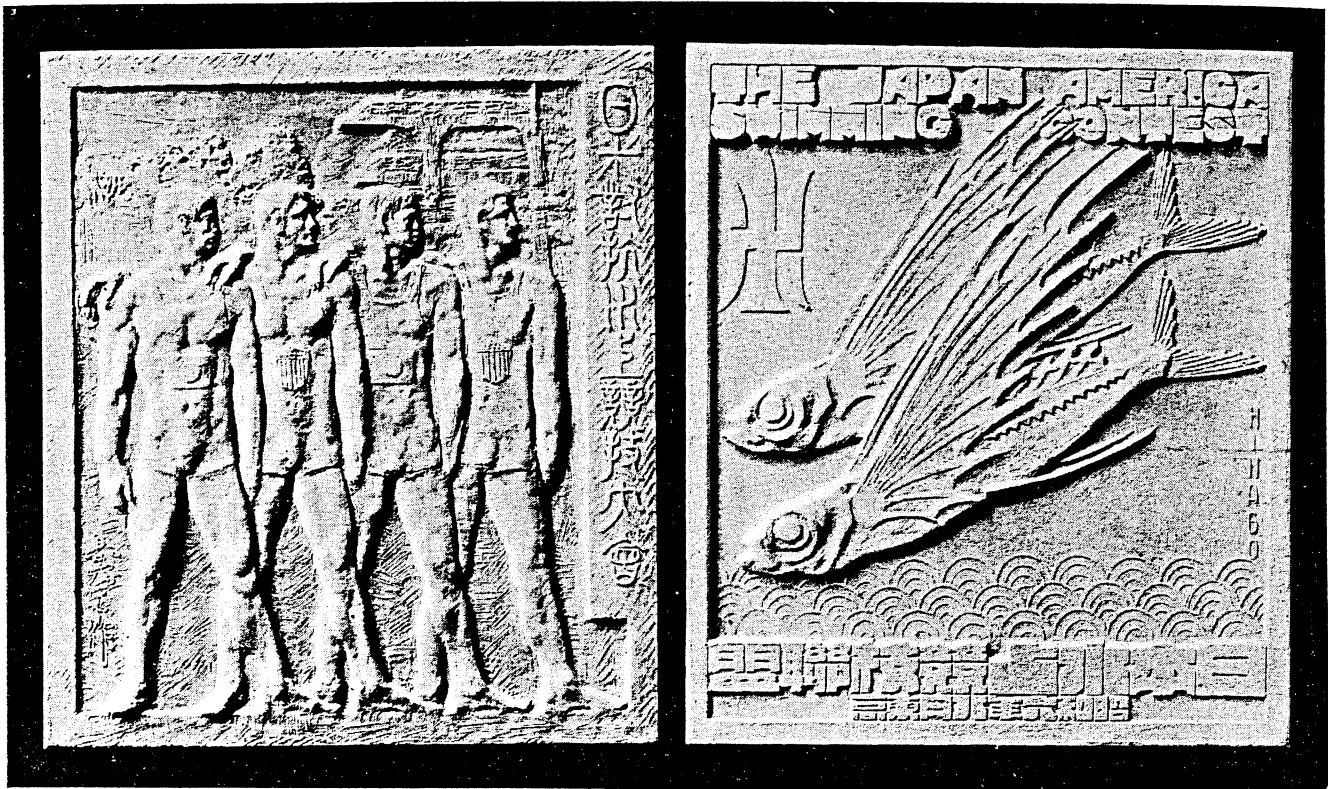
百米平泳「爵」
澁澤日米關係委員長寄贈
中野五一氏作



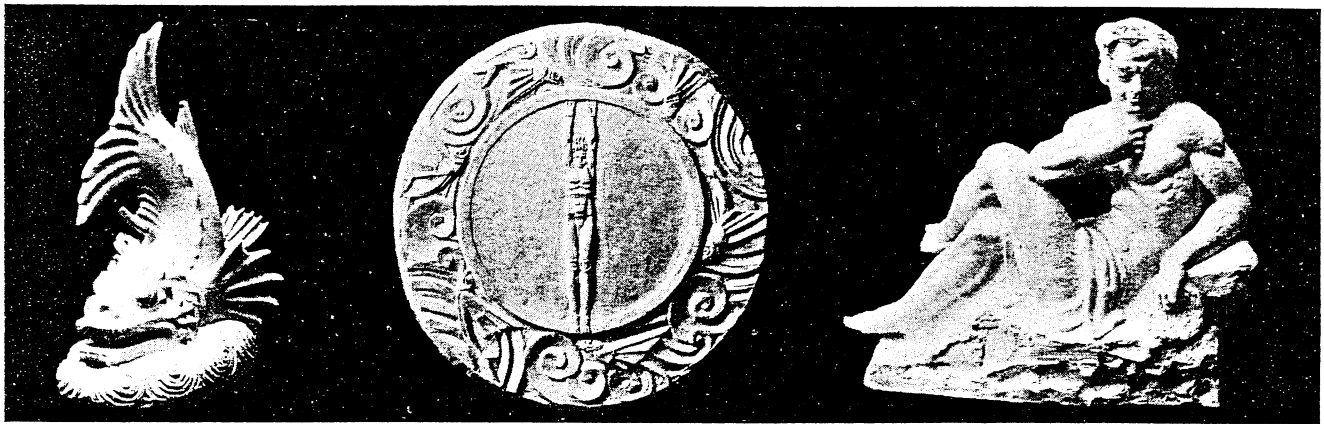
四百米自由型「矛」
日本水上聯盟會長末弘博士寄贈
河村目呂二氏作

百米背泳「磬」
ジャパンアドバタイザー寄贈
杉田忠治氏作

二百米背泳「寶石箱」
米國大使寄贈
寺畑助之丞氏作



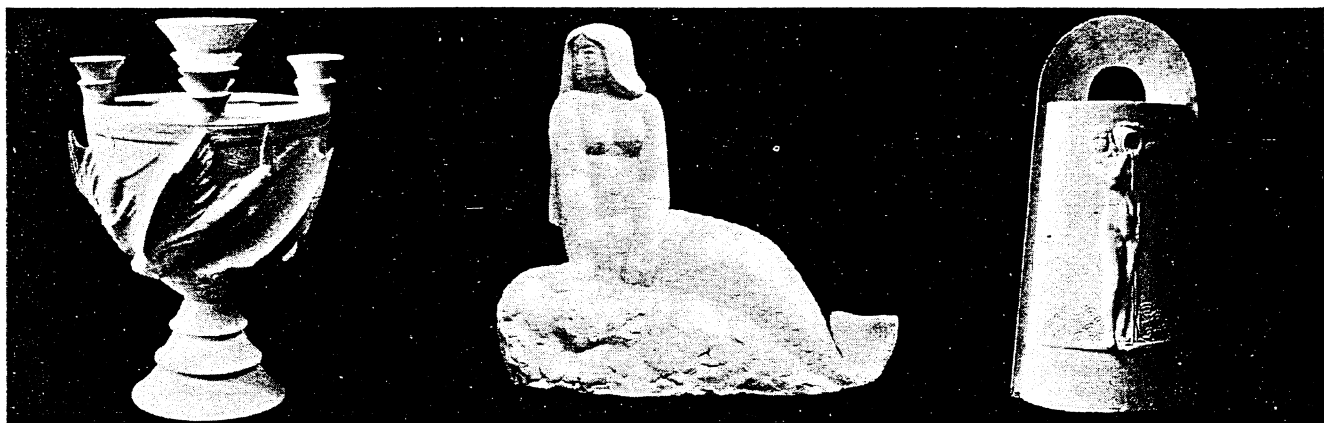
日米對抗競技會優勝メタル原型 日名子實三氏作
 (表) (裏)



八百米リレー「鯰」
 若槻首相寄贈
 陽成二氏作

百米自由型「楯」
 永田東京市長寄贈
 濱田三郎氏作

二百米自由型「ネプチューン」
 田中文相寄贈
 後藤清一氏作



四百米自由型「祝部土器」
 東京日日新聞社寄贈
 日名子實三氏作

三百米メドレーリレー「人魚」
 幣原外相寄贈
 清水三重三氏作

八百米自由型「銅鐸」
 東京朝日新聞社寄贈
 鈴木章作氏作

新装成れる明治神宮外苑水泳場

(左ノ寫眞参照)

総合運動場として完成しつつある明治神宮外苑に更に一偉觀を添へるは世界にもその比を見ない程の水泳場の竣工である。外苑千駄ヶ谷寄りの所に、競泳用五十米及飛込用二十五米の兩プールを繞つて造られた觀覽席は優に一萬三千人を收容するに足る。

正面は三階建て、その前の芝生に植えられたヒマラヤ杉と棕櫚の緑は建物の淡黄色に映じて美しくこの建築及びプールは、一般游泳と競技會の兩方面を考慮して理想的に造られ、正面向つて右は男子、左は女子、一般水泳者の入口となつてゐる。

階下には男女別の更衣室、シャワー浴室、便所等が完備し、更衣室にはロッカー及び更衣籠があり一千人が更衣出来る。正面右寄りの室は日本水上競技聯盟の事務室、第一第二會議室、及び水泳場

事務室があり更に選手控室、ラヂオ放送室迄も整つてゐる。

二階は食堂と餘備室があり、西寄りの所は水上聯盟の編輯室となつてゐる。更に三階は貴賓室に當てられ休憩室、觀覽席等であり、又西南の隅には、時計塔が巍々と聳え、競技會當日にはその上のポールに聯盟旗翻翻としてひるがえる。

スタンドに出て見ると白いコースラインがあざや

かに見える。プールを圍んで新しいシートが出来上つてゐる。スタンドは傾斜を三段として高くなる程勾配を急にして觀覽に便にしてある。メインスタンド以外の三方は土を盛つてその上にコンクリートで座席を造つてある。觀覽席は招待席及競技者席、指定席、一般觀覽席の三つに別れてゐる。又メインスタンドのプールに面した所には新聞記者席及びラヂオ放送席となつてゐる。

更に東南の隅に目を移すと、飛込塔が聳へてゐる高飛込臺は競技用の十米、五米の外に練習用として

7.50米、6.25米、3.70米、2.50米の多くの臺があつて練習に便利だ。又競技用の10米5米の高飛込臺及び3米1米の飛板は觀衆の見易いやうに全部一側に並べた點とは世界無比のタイプであらう。

新成明治神宮プール概要

敷地總面積 7.157平方米 (2.165坪)

競泳場

面積 1.250平方米(378坪)
大サ 長サ 50米 巾 25米
水深 1.50米乃至 2.10米
水量 2.250立方米
競泳水路 9コース(水路巾2.50米)
水泳競技場として使用し得。

飛込場

面積 450平方米 (136坪)
大サ 長サ 25米 巾 18米
水深 4.00米乃至 5.30米
水量 2.094立方米
競泳水路 8コース(水路巾2.00米)
競泳、水球競技にも使用し得。

飛込塔 一基附屬す

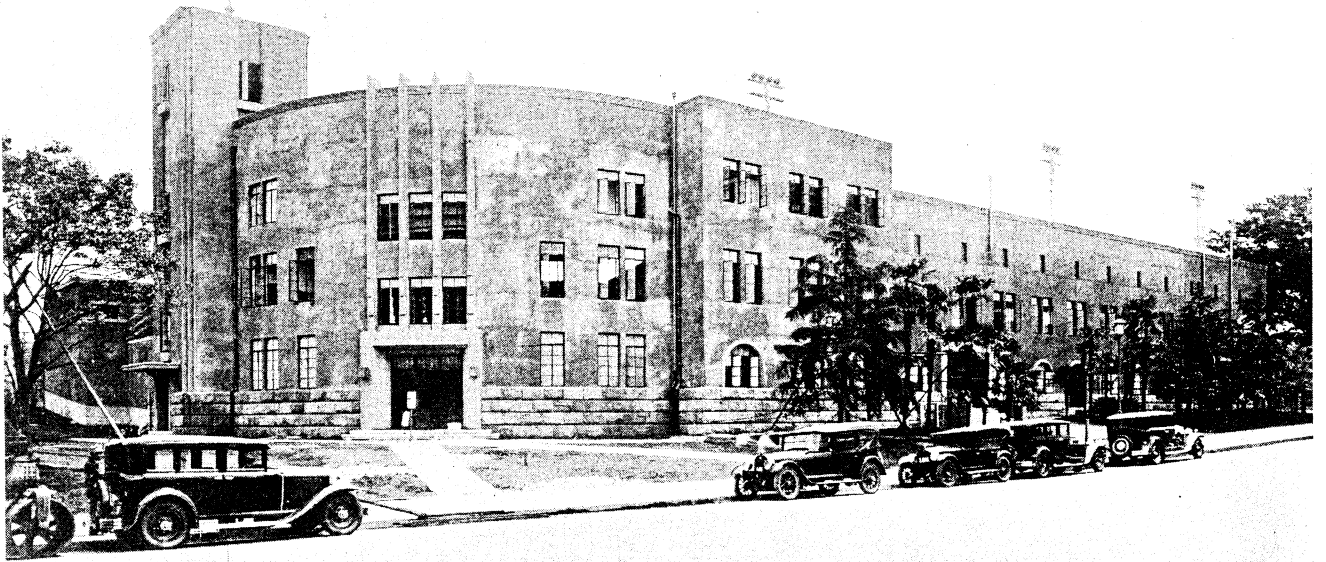
建坪 73.50平方米 (22.2坪)
高飛込臺 { 競技用 10.00米、5.00米各一ヶ
練習用 { 7.50米、6.25米
3.75米、2.50米各一ヶ
飛板 { 競技用 3.00米二ヶ 1.00米一ヶ
練習用 1.00米二ヶ

建物、觀覽席其他

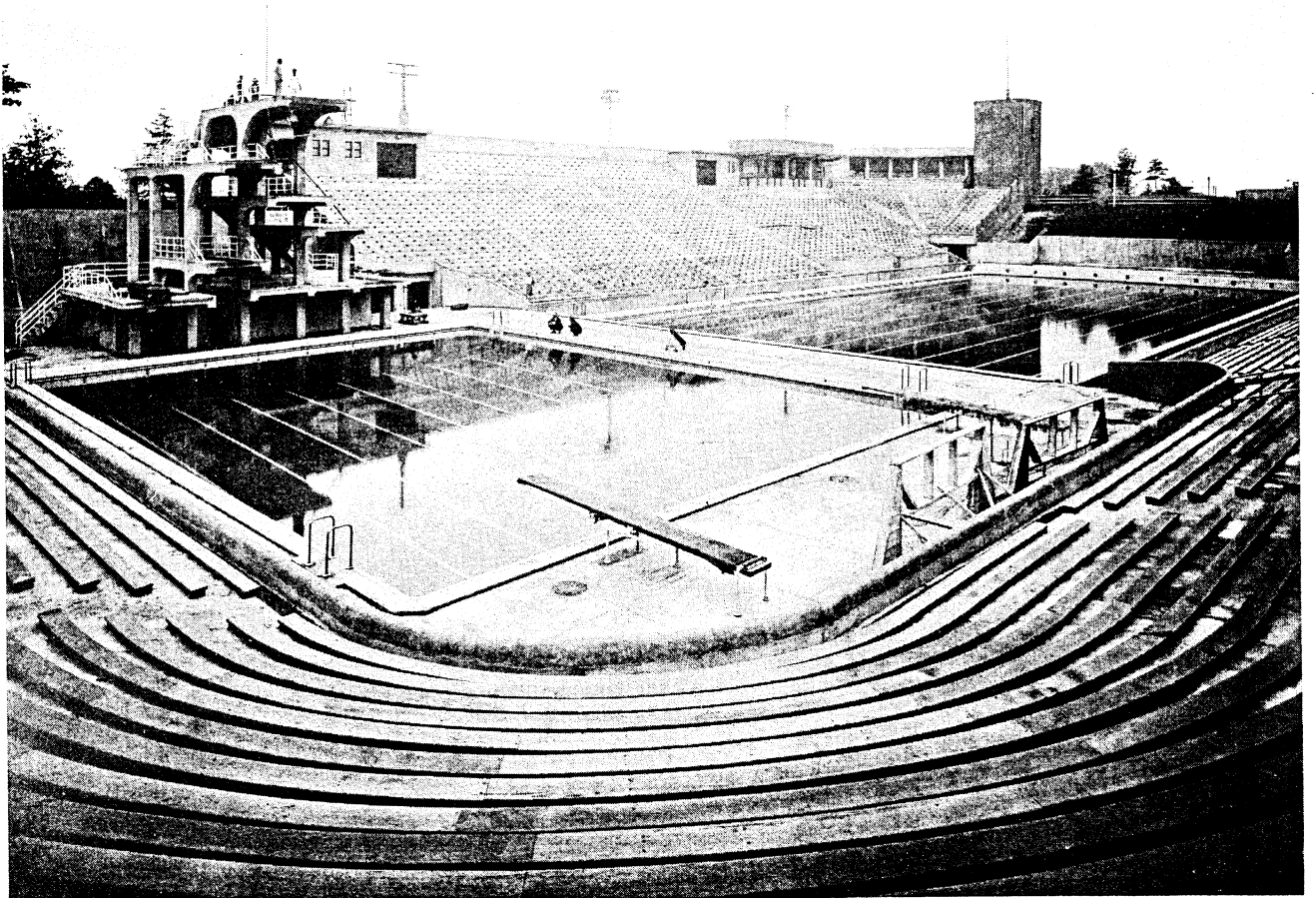
面積 4.119平方米(1.246坪)
建物延坪 2.246平方米(745坪)
メインスタンド 長サ 80米
高サ 14.14米
塔 高サ 18.74米
室數 30
來賓休憩室及同觀覽席を含む
其他のスタンド面積 3.177平方米 (1.043坪)
觀客收用人員約 13.000人

ブルドックとドリブル

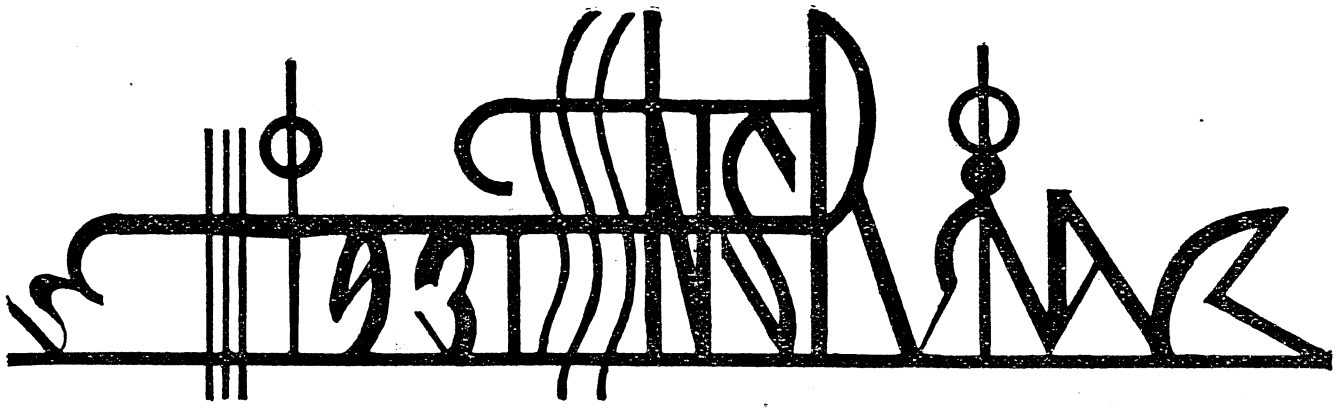
學生聯盟水球リーグ戦もプログラムの中ばを終り審判員も選手も漸く熱の出て來た慶大對拓大戦の折も折、試合開始するや審判、時任君の足もとに突如現れ出でたるブルドック。時任君の投げ込む球をキャワに追つて、颯爽と飛込み彼方の岸にワンとも云わずにドリブルして去る。かくとも知らぬ兩軍中央に互に顔を見合せてサテ……ハテナ



神宮外苑プール正面



飛込池側スタンドより貴賓席を望む



全國學生水球春期リーグ戦

廣 瀬 秀 俊

全國學生水上競技聯盟水球リーグ戦は六月十日早大プールに於る立教對法政の一戦によつて開始された。昨秋非常な元氣を見せた明大、帝大に次で第五位となつた日大、及び一高の不参加は稍淋しさを思はせたが、立教の躍進と、往年活躍した商大が一新せるメンバーで番外として加つたので、各試合毎に可成の興味を呼び起させた。

〔第一日〕 六月十日 早大プール

立大 $9 \left\{ \begin{matrix} 5 & \text{---} & 0 \\ 4 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 法大

審判時任氏 午後一時二十分開戦

昨秋強味を見せた法政の勝を豫想されて居たが結果は之に反して立教終始元氣に法政を壓迫し快勝した。立教はハンドリングに進境を見せて居た。

帝大 $24 \left\{ \begin{matrix} 12 & \text{---} & 0 \\ 12 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 拓大

審判坂倉氏 開始二時五分

勝敗は戦前已に豫想し得た處であつたが只今春好調を見せた帝大に對して奥山君以下の拓大軍が如何に健闘するかが興味をそゝつた。併し結果は右の如く拓大必死の防禦もスピードの差と帝大軍L.B.の奇襲に施す術なく 24-0の大差で惨敗した。

〔第二日〕 六月十一日 早大プール

法大 $11 \left\{ \begin{matrix} 6 & \text{---} & 0 \\ 5 & \text{---} & 1 \end{matrix} \right\} 3$ 拓大

審判植田氏 開始一時二十分

昨日の戦績から見て此の一戦は相當の接戦となるものと想はれたが、法政

は前日不出場であつた闘將落合を起用したので拓大の奮戦も空しく案外の大差で敗れた。

慶大 $16 \left\{ \begin{matrix} 9 & \text{---} & 0 \\ 7 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 立大

審判藤田氏 開始二時六分

立教は善く戦つた。得點の差こそ大であれ決して塾軍の蹂躪に委したのではなかつた。バックスのマークも確實に行つて居た。

〔第三日〕 六月十二日 早大プール

早大 $24 \left\{ \begin{matrix} 10 & \text{---} & 0 \\ 14 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 拓大

審判廣瀬 開始一時四十九分

朝來の雨止まず陰鬱な天候であつた拓大は試験の爲メンバー整はず強敵早大に對して敢然として六人のまゝゲームを行ふ。

慶大 $7 \left\{ \begin{matrix} 3 & \text{---} & 1 \\ 4 & \text{---} & 2 \end{matrix} \right\} 3$ 帝大

審判杉田氏 開始二時三十二分

帝大	慶大	慶大	慶大
橋 爪	L.F.	澤 海	
井 澤	C.F.	木 村	
原	R.F.	清 水	
植 田	H.B.	坂 倉	
村 井	L.B.	大 原	
林	R.B.	平 岡	
小 林	G.K.	井 出	

19 F.T. 19

3 G.T. 1

1 C.T. 0

帝大は五月下旬の練習戦に於て慶大に勝つて居り、又第一日拓大を 24-0で撃破して居る事とて意氣頗る旺んな

るものがあつた。之に對し慶大に取つては是非とも勝たねばならぬ一戦である。雨猶止まずゲームは雨中に大激戦となつて展開した。

前半開始後二分慶大C.F.木村ウイングからのパスを受けて先づ得點す。續いて三分二十秒帝大原一點を返して同點となり接戦を想はせたが、三分四十秒、四分五十秒慶大L.A.澤海連續ゴールを収めて優勢裡に前半を終る。後半開始後三分帝大必死に抵抗して大激戦となり負傷するものも出たが三分三十二秒慶大H.B.坂倉強シュートすればキーパー受けたが及ばずゴールす。五分慶大清水一點を加へ、六分帝大原ゴールして返したが時已に遅くタイムアップ直前六秒慶大坂倉更にゴールして、帝大の奮戦も空しく慶大快勝す。

〔第四日〕 六月十四日 東校プール

帝大 $6 \left\{ \begin{matrix} 3 & \text{---} & 0 \\ 3 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 立大

審判奥山氏 開始四時三十分

帝立定期戦の一部として幡ヶ谷東京プールで行はれた。競泳の行れた後とて帝大軍に疲労の色が見えて居たが、強豪帝大を六點に追ひ詰めた立大の奮闘は賞するに足る。數度機會を迎へ乍ら立大にゴールゲッターの居なかつたのは惜しい。

〔第五日〕 六月十五日 慶大プール

立大 $11 \left\{ \begin{matrix} 5 & \text{---} & 0 \\ 6 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\} 0$ 拓大

審判植田氏 開始一時二十六分

立教は關口、遠藤、殿井、を F.W. に置いて得点を稼がんとすのに對し拓大は同じく奥山を F.W. に出して双方積極的に出たが立教依然として強く、11-0 で軽く一蹴す。

(番外) 早大 17 $\left\{ \begin{matrix} 9 & \text{---} & 0 \\ 8 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 商大

審判坂倉氏 開始二時八分

新進商大の實力如何に興味を呼んだが早大の強襲に會つては商大の備へ支ふべくも非ず、空しく大敗す。

〔第六日〕 六月十六日 慶大プール

慶大——棄權——法政

法政棄權の爲慶大一勝す。

早大 13 $\left\{ \begin{matrix} 6 & \text{---} & 0 \\ 7 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 1 立大

審判植田氏 開始一時四十五分

立教は遠藤、殿井をバックに備へて防戦に努めたので得点を拒む事を得たが結局無得点に終る。

〔第七日〕 六月十七日 慶大プール

(番外) 立大 6 $\left\{ \begin{matrix} 3 & \text{---} & 1 \\ 3 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 1 商大

審判坂倉氏 開始一時二十分

今迄の戦績から見て両者の技術正に伯仲而も新進チーム同志の争ひとて非常な興味を呼んだが果して終始大接戦を演じて立教快勝した。立教が早いパスで確實にチャンスを生かして居た事と商大のパスに際したタックルされ易い大きなモーションとが特に目に付いた。

〔第八日〕 六月十八日 慶大プール

早大 5 $\left\{ \begin{matrix} 2 & \text{---} & 0 \\ 3 & \text{---} & 2 \end{matrix} \right\}$ 2 帝大

審判廣瀬 開始一時十六分

早大		帝大
坂上	L.W.	橋瓜
高橋	C.F.	井澤
木島	R.W.	原
藤田	H.B.	植田
土井	L.B.	村井
時任	R.B.	林
松本	G.K.	小林
9	F.T.	5
1	G.T.	1
1	L.W.	0

開始直後早大 H.B. から C.F. に返すパス悪く帝大 H.B. 植田いきなり之をドリブルで抜いて出れば突然の事で早大 C.F. 高橋追はずノーマークとなつ

て敵陣に入つたが植田あせつて敵を釣らずにそのままゴールを覗つた爲却つて早大の利する處となりバックより C.F. 高橋にパスし高橋樂にゴール三十四秒にして最初の一撃を擧ぐ。

續いて二分三秒高橋帝大ゴール前に球を得、帝大植田タックルしたが及ばずゴールす。其後は双方白熱戦を續けて前半終る。

後半二分三十九秒早大 L.F. 坂上シュート得点。四分二十九秒早大 C.F. ニヤードで退水を宣せられ帝大 H.B. 植田のフリースローとなり植田 G.K. 小林にパスして出で小林、植田、林、C.F. 井澤更に植田とパスして早大ゴール前に迫りシュートして一点を返す。續いて早大は四分五十九秒、五分二十二秒共に坂上が得点して追撃すれば六分五十一秒、帝大は早大ゴール前の混戦から、井澤、原、井澤、橋爪と渡つてシュート一点を返したが及ばず再開もなくホキッスルとなる。

戦前必勝の意氣を見せて居た帝大は前半連続二点を得られて稍氣抜けての態であつた。後半は全くの白熱戦で犯則も割合に尠く好ゲームであつた。

(番外) 慶大 16 $\left\{ \begin{matrix} 8 & \text{---} & 0 \\ 8 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 商大

審判時任氏 開始一時四十九分

商大能く戦つたが慶大の強襲に終始防戦するのみ。後半慶大澤海 G.K. となり次で病氣の爲退水したが奮闘して無得点に食ひ止める。

〔第九日〕 六月二十一日 神宮プール

此の日早慶對抗水上競技として行ふ

早大 6 $\left\{ \begin{matrix} 2 & \text{---} & 1 \\ 4 & \text{---} & 1 \end{matrix} \right\}$ 2 慶大

審判杉田氏 開始二時四十八分

早大		慶大
坂上	L.W.	澤海
竹林	C.F.	木村
高橋	R.W.	清水
藤田	H.B.	坂倉
土井	L.B.	大原
時任	R.B.	平岡
松本	G.K.	井出

10 F.T. 10

5 G.T. 3

0 C.T. 3

此の日早慶戦の名に集る観衆すこぶ

る多く、更に又新装成れる神宮プールの最初の競技會とて流石の大スタンドも埋め盡さるゝ程の盛觀であつた。

前半早大チャンスを逸した後四十六秒 R.F. 竹林ドリブルで出れば慶 F.B. 平岡之をチャージした爲坂上のマーク外れシュート得点となる。續いて一分四十八秒高橋應大ゴール前に球を得てシュート一点を加ふ。慶大奮起して二分三分頃屢々チャンスあつたが何れもシュート定まらずゴールスローとなる。慶大優勢に攻めて五分二秒清水早大ゴール右前に球を得、バックシュート能く左コーナーを突いて一点を返す。

後半早大坂上活躍し一分三四秒、二分九秒と續いて得点し慶大 F.W. に稍疲勞の色あり二分四三秒 C.F. 木村早大ゴール右前よりバックシュートして得点更に一点を返したが其後の奮闘も及ばず六分三秒早大高橋に右隅を破られて遂に早大の優勝する處となつた。早大は前年の雪辱見事成つた譯である。

慶大はメンバー中に三人の病人を出して背水の陣を布いた形であつた。前半二点の負擔を負ひ乍ら能く奮闘したが、後半に至つて疲勞の色見えて活動意の如くならず數度のチャンスも焦り氣味となつて惹く逸した觀があつた。之に反して早大はハーフ・センター等のパスワーク良く、兩ウイングを活用してゴール直前からのシュートを得て居た。前半に於るフルバックの活躍も見逃せない處であらふ。

此の一戦でリーグに於る早大の優勝は殆ど確定的となつた。

〔第十日〕 六月廿三日 神宮飛込プール

帝大 16 $\left\{ \begin{matrix} 9 & \text{---} & 0 \\ 7 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 法政

審判廣瀬 開始一時半

法政は健闘したがファウル多く、多くは得点の因をなして居た。帝大は橋爪、井澤等活躍して快勝した。

慶大 25 $\left\{ \begin{matrix} 13 & \text{---} & 0 \\ 12 & \text{---} & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 拓大

審判時任 開始二時十五分

拓大能く戦つて開始後一分半は無得点に終始したが次第に乱れて慶大の混乱する處となつた。慶大は R.W. 清水に球を集中して得点して居た。

立教は關口、遠藤、殿井、を F.W. に置いて得点を稼がんとすのに對し拓大は同じく奥山を F.W. に出して双方積極的に出たが立教依然として強く、11-0 で軽く一蹴す。

(番外) 早大 17 $\left\{ \begin{matrix} 9 & - & 0 \\ 8 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 商大

審判坂倉氏 開始二時八分

新進商大の實力如何に興味を呼んだが早大の強襲に會つては商大の備へ支ふべくも非ず、空しく大敗す。

〔第六日〕 六月十六日 慶大プール

慶大——棄權——法政

法政棄權の爲慶大一勝す。

早大 13 $\left\{ \begin{matrix} 6 & - & 0 \\ 7 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 1 立大

審判植田氏 開始一時四十五分

立教は遠藤、殿井をバックに備へて防戦に努めたので得点を拒む事を得たが結局無得点に終る。

〔第七日〕 六月十七日 慶大プール

(番外) 立大 6 $\left\{ \begin{matrix} 3 & - & 1 \\ 3 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 1 商大

審判坂倉氏 開始一時二十分

今迄の戦績から見て両者の技術正に伯仲而も新進チーム同志の争ひとて非常な興味を呼んだが果して終始大接戦を演じて立教快勝した。立教が早いパスで確實にチャンスを生かして居た事と商大のパスに際したタックルされ易い大きなモーションとが特に目に付いた。

〔第八日〕 六月十八日 慶大プール

早大 5 $\left\{ \begin{matrix} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 2 \end{matrix} \right\}$ 2 帝大

審判廣瀬 開始一時十六分

早大		帝大
坂上	L.W.	橋瓜
高橋	C.F.	井澤
木島	R.W.	原
藤田	H.B.	植田
土井	L.B.	村井
時任	R.B.	林
松本	G.K.	小林
9	F.T.	5
1	G.T.	1
1	L.W.	0

開始直後早大 H.B. から C.F. に返すパス悪く帝大 H.B. 植田いきなり之をドリブルで抜いて出れば突然の事で早大 C.F. 高橋追はずノーマークとなつ

て敵陣に入つたが植田あせつて敵を釣らずにそのままゴールを覗つた爲却つて早大の利する處となりバックより C.F. 高橋にパスし高橋樂にゴール三十四秒にして最初の一撃を擧ぐ。

續いて二分三秒高橋帝大ゴール前に球を得、帝大植田タックルしたが及ばずゴールす。其後は双方白熱戦を續けて前半終る。

後半二分三十九秒早大 L.F. 坂上シュート得点。四分二十九秒早大 C.F. ニヤードで退水を宣せられ帝大 H.B. 植田のフリースローとなり植田 G.K. 小林にパスして出で小林、植田、林、C.F. 井澤更に植田とパスして早大ゴール前に迫りシュートして一点を返す。續いて早大は四分五十九秒、五分二十二秒共に坂上が得点して追撃すれば六分五十一秒、帝大は早大ゴール前の混戦から、井澤、原、井澤、橋瓜と渡つてシュート一点を返したが及ばず再開もなくホキッスルとなる。

戦前必勝の意氣を見せて居た帝大は前半連続二点を得られて稍氣抜けての態であつた。後半は全くの白熱戦で犯則も割合に尠く好ゲームであつた。

(番外) 慶大 16 $\left\{ \begin{matrix} 8 & - & 0 \\ 8 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 商大

審判時任氏 開始一時四十九分

商大能く戦つたが慶大の強襲に終始防戦するのみ。後半慶大澤海 G.K. となり次で病氣の爲退水したが奮闘して無得点に食ひ止める。

〔第九日〕 六月二十一日 神宮プール

此の日早慶對抗水上競技として行ふ

早大 6 $\left\{ \begin{matrix} 2 & - & 1 \\ 4 & - & 1 \end{matrix} \right\}$ 2 慶大

審判杉田氏 開始二時四十八分

早大		慶大
坂上	L.W.	澤海
竹林	C.F.	木村
高橋	R.W.	清水
藤田	H.B.	坂倉
土井	L.B.	大原
時任	R.B.	平岡
松本	G.K.	井出

10 F.T. 10

5 G.T. 3

0 C.T. 3

此の日早慶戦の名に集る観衆すこぶ

る多く、更に又新装成れる神宮プールの最初の競技會とて流石の大スタンドも埋め盡さるゝ程の盛觀であつた。

前半早大チャンスを逸した後四十六秒 R.F. 竹林ドリブルで出れば慶 F.B. 平岡之をチャージした爲坂上のマーク外れシュート得点となる。續いて一分四十八秒高橋應大ゴール前に球を得てシュート一点を加ふ。慶大奮起して二分三分頃屢々チャンスあつたが何れもシュート定まらずゴールスローとなる。慶大優勢に攻めて五分二秒清水早大ゴール右前に球を得、バックシュート能く左コーナーを突いて一点を返す。

後半早大坂上活躍し一分三四秒、二分九秒と續いて得点し慶大 F.W. に稍疲勞の色あり二分四三秒 C.F. 木村早大ゴール右前よりバックシュートして得点更に一点を返したが其後の奮闘も及ばず六分三秒早大高橋に右隅を破られて遂に早大の優勝する處となつた。早大は前年の雪辱見事成つた譯である。

慶大はメンバー中に三人の病人を出して背水の陣を布いた形であつた。前半二点の負擔を負ひ乍ら能く奮闘したが、後半に至つて疲勞の色見えて活動意の如くならず數度のチャンスも焦り氣味となつて惹く逸した觀があつた。之に反して早大はハーフ・センター等のパスワーク良く、兩ウイングを活用してゴール直前からのシュートを得て居た。前半に於るフルバックの活躍も見逃せない處であらふ。

此の一戦でリーグに於る早大の優勝は殆ど確定的となつた。

〔第十日〕 六月廿三日 神宮飛込プール

帝大 16 $\left\{ \begin{matrix} 9 & - & 0 \\ 7 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 法政

審判廣瀬 開始一時半

法政は健闘したがフアウル多く、多くは得点の因をなして居た。帝大は橋瓜、井澤等活躍して快勝した。

慶大 25 $\left\{ \begin{matrix} 13 & - & 0 \\ 12 & - & 0 \end{matrix} \right\}$ 0 拓大

審判時任 開始二時十五分

拓大能く戦つて開始後一分半は無得点に終始したが次第に乱れて慶大の混乱する處となつた。慶大は R.W. 清水に球を集中して得点して居た。

〔第十一日〕

六月廿四日 神宮で飛込プール

早大—棄權—法政

法政再び棄權をなし、早大戦はずして一勝す。

以上で春のインターカレッジ水球リーグ戦は終了し、早大は五戦五勝して再びインターカレッジの覇を握る事となった。順位は慶大四勝一敗して第二位、次で帝大、立教、法政、拓大の順である。

顧みて昨秋の成績と比較する時立教の躍進が特に目立つ。昨秋拓大に次ぐ最下位の八位にあつた立教は第六位の法政を軽く一蹴して、上位に就いたのである。事実立教の實力は一段と進歩の跡が見えて居た。番外として加つた商大は良く纏つた元氣のあるチームとして將來の活躍が大いに期待される。

尙番外ゲームとして、商—拓。商—法。帝—商の第三ゲームが引續いて行れた。後半戦に這入つての商大の活躍を左に簡單乍ら記して置きます。

(番外) 帝大 $\left\{ \begin{matrix} 3 \\ 5 \end{matrix} \right\} 1$ 商大

審判時任氏 開始一時四六分

開始後十五秒にして帝大F.B.村井センター左よりロングシュートして早くも得点し帝大の大勝を想はせたが其後の商大は非常に元氣あるプレーを見せて奮闘し二分十五秒、三分五秒に得点を許したのみ、六分四秒商大R.F.鈴木却つて一點を得て接戦裡に前半終る後半帝大の活躍に對して商大フマウル多く、前半の奮戦空しく敗退す。

〔第十二日〕

六月廿五日 神宮飛込プール

(番外) 商大 $\left\{ \begin{matrix} 2 \\ 2 \end{matrix} \right\} 1$ 法政

審判植田氏 開始一時半

双方の技倆伯仲して大接戦を演じた法政は闘將落合をF.W.に置いて活躍せしめたが、商大はコンビネーションと、ハンドリングに一日の長ありF.W.國分佐原、鈴木、何れも得点して四對一初めて快勝す。

〔第十三日〕

六月廿六日 神宮飛込プール

(番外) 商大 $\left\{ \begin{matrix} 6 \\ 5 \end{matrix} \right\} 0$ 拓大

審判時任氏 開始一時十五分

拓大善戦屢々チャンスあり、得点するかと思はれたが、何れもシュート弱くものに成らず、惜くも無得点に終る商大は相變らず元氣一杯に戦ひ、國分佐原等活躍して十一點を挙げ大勝す。

商大、拓大共に今夏は専心練習を行ふと聞く、秋のシーズンに於ける兩者の活躍を祈りつゝ筆を擱く。

	早大	慶大	帝大	立教	法政	拓大	敗
早大	×	●	●	●	●	●	○
慶大	○	×	●	●	●	●	1
帝大	○	○	×	●	●	●	2
立教	○	○	○	×	●	●	3
法政	○	○	○	○	×	●	4
拓大	○	○	○	○	○	×	5
勝	5	4	3	2	1	○	

第四回 一高對立教豫科 水上競技會

場所 東京高校プール(25米)未公認

期日 昭和六年五月三十一日(晴)

記念競泳大會

主催 清洲水泳協會(名古屋)

場所 清洲プール(五〇米)

期日 昭和六年五月三十一日

概評

今年度中部日本最初の競技會なれば、斯界よりの注目を惹き、出場者も百八十有餘名に達し、極めて盛會であつた。男子部の名古屋高商清川君百米背泳に一分十一秒の練習タイム(名高商二十五米プール)を確實に出現さすか、十傑の一人磯野君は如何に活躍するか。從來女子に壓倒されてゐた男子水泳界も漸く進展したと見えたが、清川君棄權し、磯野君も豫想に反し、從來通り女子部斷然優秀なる成績を残し加藤好子嬢(淑徳高女)益々強く新進吉田文子嬢(縣一)共に五十米背泳に日本新記録を作成し、之に伴ひ他の選手もよく追従し、中京女子水泳界益々好調である。男子水泳界も日一日と進展し

二百米リレー

1 立教豫科チーム

根上、由本、遠藤、關口 2:01.2

2 一高チーム

差 1米餘

四百米自由型

1 根上、立豫

5:15.8

2 田野、立豫

差40米

3 北湯口、一

差 1米

百米背泳

1 由本、立豫

1:25.4

2 田野、立豫

差 1米

3 兼井

差タッチ

二百米平泳

1 中村、立豫

2:56.6

2 村井、立豫

差15米

3 星野、一

差10米

百米自由型

1 根上博、立豫

1:05.0

2 關口、立豫

差 1米餘

3 竹内、立豫

差 2米餘

八百米リレー

1 立教豫科チーム

關口、田野、竹内、根上 10:32.4

2 一高チーム

差20米

無名の選手よく頑張り、青年團員の活躍も注目に値する。

日本女子水泳界のナンバーワン、椋山高女前畑秀子嬢は兩親を喪ひて元氣頗るなく、フォームも昨年に比し極めて悪しきは誠に憂慮に堪えぬ。

競技シーズンとして尙早き五月三十一日としての當日戦績は誠に賞讃すべきものと思はれると同時に二千有餘名の觀衆は、中京水泳界のレベル上昇に少なからぬ援助を與へしものと思ふ。

決勝記録

男子五十米自由型

1 青木勝夫、豊山青年

28.4

2 長村良二、岐商

3 村手一郎、岐水聯

學童五十米自由型

1 堀 勝美、岐京小

34.0

2 青山一雄、岐京小

3 廣瀬鐵夫、岐京小

女子百米平泳	
1 前畑秀子、椛山	1:32.4
2 浅井昌子、縣一	
3 近藤春子、淑徳	
女子五十米背泳	
1 加藤好子、淑徳	42.2新記録
2 吉田文子、縣一	42.6新記録
3 高野菊枝、淑徳	
男子四百米自由型	
1 近藤勇三、八高	5:45.6
2 奥西真人、劍陵	
3 今校正治、劍陵	
男子二百米平泳	
1 小出義彦、桑中	3:10.4
2 向井正男、岐商	
3 岩橋孝司、	
男子百米自由型	
1 志知 康、岐商	1:09.2
2 近藤甚吉、白壁青	
3 服部光三、岐商	
女子二百米自由型	
1 小島一枝、椛山	3:16.0
2 横江照子、淑徳	
3 早川ひで子、淑徳	
學童百米自由型	
1 堀 勝美、岐京小	1:19.4
2 青山一男、岐京小	
3 廣瀬鐵夫、岐京小	
女子百米背泳	
1 加藤好子、淑徳	1:34.6
2 吉田文子、縣一	
3 高野菊枝、淑徳	
男子百米背泳	
1 永廣宇之助、劍陵	1:24.8
2 佐竹 辨、津島	
3 後藤彌喜知、岐商	
男子二百米自由型	
1 近藤勇三、八高	2:38.0
2 奥西真人、劍陵	
3 志知 康、岐商	
女子百米自由型	
1 小島一枝、椛山	1:22.0
2 戸張ハツ、淑徳	
3 社本川歌子、椛山	
女子二百米平泳	
1 前畑秀子、椛山	3:23.2
2 浅井昌子、縣一	
3 近藤はる、淑徳	

男子百米平泳	
1 小出義彦、桑中	1:23.4
2 磯野勵三、劍陵	
3 中川重雄、神戸青	
女子五十米自由型	
1 戸張ハツ、淑徳	37.0
2 神谷富喜子、縣一	
3 寺下臣枝、淑徳	
男子五十米背泳	
1 永廣宗之助、劍陵	37.0
2 水谷宗三郎、劍陵	
3 佐竹 辨、津島	

女子四百米リレー	
1 淑徳高女チーム	(戸張、横江、高野、加藤)
	6:06.8
2 椛山高女チーム	(宇佐美、水野、社本、小島)
男子八百米リレー	
1 劍陵クラブ	(清川、今枝、奥西、水谷)
	10:45.4
2 岐阜商業チーム	
3 岐阜水上聯盟	(水野治昌)

帝 慶 飛 込・水 球 戦



原秀君の走前一回半宙返り

場所 慶應網町プール
 期日 昭和六年五月三十一日

飛 込

この競技會は本シーズンの魁ではあるが、四月以來戸外で練習した慶應ダイバーの進歩が目された。帝大は今春京念屋、大竹、田邊、金重君等を送つて寥々たるもので、遠藤、大場君の奮起で對抗したが、對抗戦としてよりもむしろ慶應ダイバーの進境に興味がかげられた。

就中目についたのは原秀君の長足の進歩で、今迄のハイダイバーとしてのみならず、飛板飛込にも立派に貫録を示した。

當日特に目立つたのは、脚の完全に伸びてゐる人は一人もなく皆多少曲つ

てゐたことである。期待が多すぎたのかシステムの進歩は少しも見られなかつたのは遺憾であつた。

1 原 西三、慶	86:08.
2 原 秀、慶	85:04.
3 清水 治、慶	78:54.
4 奥平俊二、慶	70:16.
5 遠藤一郎、帝	78:26.
6 六大場富士夫、	43:44.

(山内辰雄)

水 球

五月卅一日慶應對帝大の練習試合が網町プールで行はれた、結果は2對1(2:0.0:1)で帝大の勝利に了つた。試合はスコア程白熱したものではないまだシーズン當初の爲練習不足のためにか、兩軍共スピードもコンビネーションも無く平凡に経過した。唯本年度最初の水球戦として結果を報告してをく。(Y生)

帝立對抗水上競技會

場所 東京高校プール(二十五米)	
非公認	
期日 昭和六年六月一日(晴)	
二百米リレー	
1 立教チーム(關口、根上、由本、松浦)	1:57.0
2 帝大チーム(山田、三橋、井澤、田中)	
四百米自由型	
1 根上、立	5:16.2
2 井澤、帝	5:36.4

- 3 田野、立
- 4 殿井、立
- 5 西野、帝
- 6 小林、帝
- 百米自由型
- 1 松浦、立 1:04.4
- 2 關口、立 1:05.4
- 3 山田、帝
- 4 竹内、立
- 5 田中、帝
- 6 三橋、帝
- 二百米平泳
- 1 中村、立 2:57.0

- 2 原、帝
- 3 村井、立
- 4 村井、帝
- 5 高木、帝
- 6 横山、立
- 八百米自由型
- 1 根上、立 11:11.0
- 2 井澤、帝 11:52.0
- 3 田野、立
- 4 殿井、立
- 5 西野、帝
- 6 小村、帝
- 百米背泳

- 1 大久保、帝 記録ナシ
- 2 由本、立
- 3 竹内、立
- 4 山田、帝
- 5 中野、帝
- 八百米リレー
- 1 立教チーム 10:13.0
- 松浦、田野、關口、根上、
- 2 帝大チーム
- 小林、西野、井澤、三橋、
- 得點 立教 6人 帝大 4人

大 學 新 人 水 上 競 技 大 會

主催 横濱水泳協會
 場所 横濱元町プール(五十米)
 期日 昭和六年六月七日(晴)



概 評

大學新人水上競技大會は、快晴の六月七日午後一時から新緑の横濱元町プールに開催された。この日参加校は早大、日大、立大の四校で明大、慶大、

帝大其の他は選手欠乏、故障のためその参加を見られなかつた。東京より役員、斯道の大家多数の來賓を見、本年最初の戶外競技會は盛大を極めた。因みに戦跡は次の通りで當日の呼物市長杯は最高記録として四百米に九十九%の成績を収めた早大横山隆志君の手に授與された。

百米自由型

- 1 若山瀧美、早大 1:05.6
- 2 豊田久吉、日大 1:05.8
- 3 志村義久、早大
- 4 村松四郎、法大
- 5 安岡正博、日大
- 6 齋藤純郎、法大

二百米平泳

- 1 安永 弘、日大 3:05.4
- 2 渡井八郎、法大 3:07.0
- 3 村井正二郎、立大 3:13.0
- 4 諏訪信一、早大
- 5 長谷川鏡二、早大
- 6 宮原保行、早大
- 千五百米自由型

- 1 横山隆志、早大 20:37.8
- 2 村松四郎、法大 22:08.8
- 百米背泳

- 1 豊田久吉、日大 1:18.2
- 2 勝久重隆、早大 1:18.6
- 3 安岡正博、日大 1:20.6
- 4 若山瀧美、早大
- 5 吉川彦一、法大
- 6 齋藤純郎、法大

四百米自由型

- 1 横山隆志、早大 4:59.8
- 2 志村義久、早大 5:36.4
- 3 友田 信、早大 5:57.8
- 4 田野耕清、立大
- 5 岩田二郎、早大
- (番外)二百米リレー

1 先輩チーム

松浦武夫、圓下良一、野田一雄、高石勝男 1:52.2

2 新人チーム

若山瀧美、志村義久、豊田久吉、横山隆志 1:54.4

(石毛政信氏寄)

第 五 回 早 慶 對 抗 水 上 競 技 大 會

場所 明治神宮外苑プール(五十米)
 期日 昭和六年六月二十一日

東都の人氣を呼んだ早慶對抗競技はその得點から見れば早八〇、慶五六で相當の開きがあつたに拘らず、慶應主

將野出君の復活的活躍と根來、河石兩君の各方面に於ける力闘を中心とした慶應軍の意氣により始終興味を惹いた早大は一般に調子悪かつた。然し殆んど全種目に本大會記録を新にしたこと

は當大會の進歩を物語るものできる。

決勝記録

四百米自由型

- 1 横山隆志、早 5:03.2

大會新記録

目次に戻る

2 米山 弘、早	5:17.8
3 小森正巳、慶	5:25.2
4 阪上安太郎、早	
5 山川金之助、慶	
6 松岡繁夫、慶	
二百米平泳	
1 塚原茂樹、早	2:58.8
2 大串泰造、慶	3:03.0
3 松本隆重、早	3:04.6
4 調子光二、早	
5 山口三郎、慶	
百米自由型	
1 野田一雄、慶	1:01.4
2 河石達吾、慶	1:01.6
3 宮本武夫、早	1:02.2
4 高橋成夫、早	
5 熊野佐一、早	
6 財部四郎、慶	
百米背泳	

1 入江稔夫、早	1:14.2	大會新記録
2 根來幸成、慶	1:16.8	
3 大島正夫、早	1:17.0	
4 若山瀧美、早		
5 市橋満之介、慶		
6 猿橋 清、慶		
水 球		
(競技會記事——廣瀬秀俊氏—参照)		
早	2—1	慶
	4—1	
二百米自由型		
1 野田一雄、慶	2:20.4	大會新記録
2 清政武夫、早	2:25.6	
3 米山 弘、早	2:26.4	
4 河石達吾、慶		
5 宮本武夫、早		
6 松岡繁夫、慶		

千五百米自由型		
1 横山隆志、早	20:34.6	大會新記録
2 根來幸成、慶	21:30.6	大會新記録
3 山本 操、慶	22:35.0	
4 五十嵐力英、早		
5 志村義久、早		
6 谷口猛政、慶		
八百米リレー		
1 早大チーム		
米山弘、竹林隆二、清政武夫、横山隆志		
	9:37.8	大會新記録
慶應チーム		
小森正巳、山川金之助、河石達吾、野田一雄		
	9:38.2	大會新記録

第五回東海中等學校水上競技大會

主催 濱松高工水泳部
 場所 同校プール(二十五米)未公認
 期日 昭和六年六月二十、一日
 濱松高工主催第五回東海中等學校水上競技大會第一日は、六月二十日午後一時から同校プールに於て舉行された。參加校松濱一中外六校、參加選手中には昨夏驚異的記録を残した見付中學の牧野、片山去つて後濱松一中のピカー宮崎に加ふるに中農鳥井、濱師の鳥、靜中の森、高木の諸選手あり大會前から噂されてゐた沼商小池君の出場を見なかつたのは、聊か物足りなさを感じたが、各校選手の元氣一杯の奮闘振りは東海に於ける今夏最初の大會として十分の意義あらしめた。

朝來の曇天に加ふるに、東風弱く、水温二十一度半、百米自由型豫選を皮切りに競技は開始された。二百米平泳豫選に於て、見中大石松夫(3:06.8)中農伊藤三郎(3:09.2)兩君は早くも本大會新記録を作り、午後四時半豫選終る結果左の如し。

百米自由型豫選
 A組 1 鳥 大作、濱師 1:07.8

2 堀井鏡平、靜中	
B組 1 高木茂雄、靜中	1:08.0
2 松本千代三、見中	
C組 1 宮崎康二、濱一中	1:04.0
2 森 博、靜中	
二百米自由型豫選	
A組 1 宮崎康二、濱一中	2:32.6
2 中島重助、見中	
B組 1 鳥 大作、濱師	2:33.0
2 大和万壽雄、中農	
C組 1 鳥井一夫、中農	2:35.4
2 高木茂雄、靜中	
四百米自由型豫選	
A組 1 中島重助、見中	5:29.2
2 太田武雄、濱一中	
F組 1 牧野正藏、見中	5:15.2
2 森 博、靜中	
C組 1 鳥居一夫、中農	5:26.0
2 新聞六柄、靜中	
八百米自由型豫選	
A組 1 牧野正藏、見中	10:57.4
2 田畑三郎、濱一中	
F組 1 太田武雄、濱一中	11:33.0
2 久保田庄平、濱商	
C組 1 石井光次郎、濱一中	11:52.4

2 寺田 登、見中	
五十米背泳豫選	
A組 1 寺田嘉郎、見中	38.2
2 八木松次、中農	
B組 1 菅沼加雄、濱一中	38.4
2 渡邊眞吾、見中	
C組 1 關 英喜、濱一中	38.4
百米背泳豫選	
A組 1 關 英喜、濱一中	1:28.8
2 鈴木恭一、見中	
E組 1 渡邊眞吾、見中	1:28.0
2 岩崎 繁、掛中	
C組 1 寺田嘉郎、見中	1:24.4
百米平泳豫選	
A組 1 山下正果、濱一中	1:25.6
2 大石松夫、見中	
F組 1 伊藤三郎、中農	1:28.4
2 本間正嘉、見中	
C組 1 伊藤軍吉、中農	1:27.0
2 式守 正、濱一中	
二百米平泳豫選	
A組 1 伊藤三郎、中農	3:06.2
2 式守 正、濱一中	
B組 1 大石松夫、見中	3:06.8
2 稻垣武一、中農	

C組 1 山下正果、濱一中 3:10.2

2 伊藤軍吉、中農

豫選の結果から眺めて各校の勢力均等、最後の優勝は何れに歸するか殆んど豫測を許さぬ有様、第二日は午前九時半緊張裡に開始さる。

この日百米自由型に於て、濱松一中の宮崎君は、先輩片山君の本大會記録1:03.3を短縮すること1.2、即ち1:01.8の好記録を残して優勝した。之は本大會を通じて偉大なる收獲と云へやう。又二百米リレーに一米の差を以て斷然優勝した靜中軍の意氣も賞讃に價するが、短距離に強い靜中軍は今少し中、長距離に力を注がなければ全國的の覇者たることは此所暫く困難だらう。靜中軍の奮起を望む。

決勝記録

百米自由型

- 1 宮崎、濱一中 1:01.8
- 2 森、靜中 差 5米
- 3 鳥、濱師
- 4 高木、靜中

二百米自由型

- 1 宮崎、濱一中 2:24.0
- 2 鳥居、中農 差 2米
- 3 鳥、濱師
- 4 中島、見中

四百米自由型

- 1 牧野、見中 5:16.0
- 2 鳥井、中農
- 3 中島、見中
- 4 太田、濱一中

八百米自由型

- 1 牧野、見中 10:58.0
- 2 太田、濱一中
- 3 久保田、濱商
- 4 寺田、見中

二百米リレー

- 1 靜中チーム(新間、堀井、森、高木) 1:58.6

- 2 濱一チーム(太田、宮本、袴田、宮崎)

- 3 見中チーム(中島、松本、竹下、牧野)

- 4 中農チーム(今敷、大和、鈴木、鳥居)

八百米リレー

- 1 見中チーム(中島、竹下、寺田、牧野) 10:12.6

- 2 濱一中チーム(太田、石井、袴田、宮崎)

- 3 靜中チーム(森、新間、堀井、高木)

- 4 中農チーム(大和、豊田、稻垣、鳥居)

靜中軍始めから斷然強くラスト高木のスタートする際は、二位見中との差約二十米、三位濱一中との差二十三米牧野、宮崎稍あせり氣味に高木を目がけて力泳又力泳、牧野ラストの二十五米に於て漸く高木に追付き、宮崎も亦ラスト二十米の力泳効を奏し牧野その差を僅か一米半に縮めて二位、高木三位となる。尙牧野は二百米2:23. 宮崎は2:21.0で泳いだ。

五十米背泳

- 1 菅沼、濱一中 38.0
- 2 寺田、見中
- 3 關、濱一中
- 4 八木、濱一中

百米背泳

- 1 寺田、見中 1:23.6
- 2 關、濱一中
- 3 鈴木、見中
- 4 菅沼、濱一中

百米平泳

- 1 大石、見中 1:26.0
- 2 山下、濱一中
- 3 伊藤三、中農
- 4 伊藤軍、中農

二百米平泳

- 1 伊藤三、中農 3:08.4
- 2 大石、見中
- 3 山下、濱一中
- 4 式守、濱一中

各校得點

見中四六、濱一中四三、中農一九、靜中一八、(1) 第一、第二日を通じて強剛牧野選手の活躍の跡を眺め、一抹の物足りなさを感じざるにも非ず、然し兩日を通じて牧野選手の奮闘は、決して彼の有する力の凡てではない。昨夏の調子を全く恢復してゐる彼ではない。特に組織的の猛練習に入らんとする所謂彼にとつてはウォーミングアップのレースであつたと云へよう。彼を猛襲する強敵の参加がなかつたこと、今一つは團體としての優勝の意味からして、その運命を決す可き八百米リレーが八百米自由型の直後にあつた關係上、同校チームの立場からかゝる結果

を來す可く餘儀なくされたと思ふ。彼の泳法は依然として變りはない……彼の健康も……元氣も……。之から始めんとする組織的練習こそは必ずや昨夏にも増して天下の期待に添ふ可き結果を齎すだらう。

(2) 今後百米に於て先づ第一に一分を切り得る者は實に濱一中の宮崎選手なり……の評ありとか、現に超速的の進歩を續けて一分一秒を時折出してゐる君だから、近き將來に於て必ずやこの世評も實現されるだらう。幸に自重自愛、専心斯道の爲に邁進せられよ。

牧野敏一氏寄

第五回

北大豫科 對 小樽高商

水上競技大會

場所 小樽高商プール

(二十五米)未公認

期日 昭和六年六月二十一日

五十米自由型決勝

- 1 本間孝一、小 記録ナシ

- 2 河原田博、北

- 3 櫻井孝平、小

- 4 金澤政雄、北

- 5 河部舜一、小

- 6 鈴木 博、北

八百米自由型決勝

- 1 澤田克己、北 13:29.8

- 2 佐久間大三、北

- 3 一谷孝男、小

- 4 林 秀夫、北

- 5 伊藤 實、小

- 6 荒木田敏郎、小

百米自由型快勝

- 1 河原田博、北 1:11.2

- 2 村上恒夫、北

- 3 高山正男、小

- 4 河邊舜一、小

- 5 加藤元雄、北

- 6 名雪 賢、小

二百米平泳決勝

- 1 尾關光治、小 3:27.0

- 2 林 秀夫、北

- 3 石井磐根、北

- 4 久保富士夫、小

- 5 玄地 實、北
二百米自由型決勝
1 山形達尾、小 2:50.8
2 村上恒夫、北
3 高山正男、小
4 築城武義、北
5 加藤元雄、北
6 櫻井孝平、小
百米背泳決勝
1 本間孝之助、小 1:22.6
2 名雲 賢、小
3 鈴木 弘、北
4 阿部貞雄、小
5 橋本 弘、北
6 喜多村治、北
四百米自由型決勝
1 佐久間大三、北 6:18.8
2 澤田克巳、北
3 一谷秀男、小
4 山形達尾、小
5 築城武義、北

- 6 伊藤 實、小
四百米リレー
1 小樽高商チーム
高山正男、本間孝之助、山形達尾、
一谷秀雄 4:55.4
2 北大豫科チーム
村上恒夫、河原田博、加藤元雄、
金澤政雄
(小樽體背協會報告)

- 二百米自由型決勝
1 山本嘉教、同高商 2:28.6
八百米自由型決勝
1 入谷、同高商 11:40.6
百米自由型決勝
1 横田 弘、同大 1:05.8
二百米平泳決勝
1 岡島武男、同大 3:08.8
四百米自由型決勝
1 山本嘉教、同高商 5:22.8
百米背泳決勝
1 土井一生、同高商 1:21.0
八百米リレー決勝
1 同大チーム 10:09.2
竹村、横田弟、横田兄、小杉
三百米メドタリリレー
1 同大チーム
石橋、岡島、横田 3:51.0
各校得点
同大 84. 同高商 81. 京大 36.
三高 30. 京薬専 12. 府立醫大 2.

第七回 京都學生水上競技大會

主催 京都學生水上競技聯盟
場所 京都帝大プール
(二十五米)非公認
期日 昭和六年六月二十一日
二百米リレー決勝
1 同志社チーム
石橋、竹村、小杉、横田兄
1:56.2

第八回 早大對抗水上競技大會

場所 明治神宮外苑プール(五十米)
期日 昭和六年六月二十八日(晴)
第八回早大對關學對抗競技は六月二十八日の日曜日、快晴の下に行はれた當日氣温二七度、水温二四度半。競技として見る可きものは、早大宮本君が五十米自由型に於て 26:4. の日本新記録を作つたことである。之は本シーズン女子日本新記録の最初のものである又關學安藤秀信君は八百米自由型に於て強剛早大の米山弘を接戦の末遂に之を破つたのは特筆に値する。

- 決勝記録
二百米リレー
1 早大チーム
宮本武夫、坂上安太郎、森好男、
高橋成夫 1:50.8
2 關學チーム
松本治一、伊藤英逸、野村弘、
吉瀬智雄 1:52.4
二百米自由型
1 横山隆志、早 2:19.8
2 竹林隆二、早 2:25.6

- 3 松本治一、關 2:26.6
4 伊藤英逸、關
5 兵庫慶二、關
6 坂上安太郎、早
五十米自由型
1 宮本武夫、早 26.4
2 吉瀬智雄、關 27.2
大會新記録
3 高橋成夫、早 27.6
4 野村 弘、關
5 若山瀧美、早
6 岸本芳野、關
八百米自由型
1 安藤秀信、關 10:56.0
2 米山 弘、早 10:57.2
3 兵庫慶二、關 11:23.0
4 坂上安太郎、早
5 山尾大吉、關
6 五十嵐力英、關
二百米平泳
1 塚原茂樹、早 3:00.0
2 調子光二、早 3:03.4
3 松本隆重、早 3:05.0

- 4 庄野鶴一、關
5 野田正雄、關
6 林原秀太郎、關
百米自由型
1 宮本武夫、早 1:01.6
2 高橋成夫、早 1:01.8
3 伊藤英逸、關 1:03.0
4 野村金治、關
5 森 好男、早
6 川喜田益夫、關
四百米自由型
1 横山隆志、早 4:59.0
大會新記録
2 清政武夫、早 5:15.2
3 松本治一、關 5:19.4
4 安藤秀信、關
5 志村義久、早
6 山尾大吉、關
百米背泳
1 入江稔夫、早 1:14.4
2 吉瀬智雄、關 1:16.4
3 大島正夫、早 1:17.2
4 上野克巳、早

- 5 岸野芳郎、關
 6 増田勤二、關
 八百米リレー
 1 早大チーム
 米山弘、竹村隆二、清政武夫、
 横山隆志 9:45.0
 2 關學チーム
 伊藤英逸、野村弘、兵庫慶二、
 松本治一 10:10.2
 得點 早大 107、關學 70、

水球

關學		早大	
松本	L.F.	坂上	
伊藤	C.F.	竹林	
野村	R.F.	高橋	
岸本	H.B.	時任	
安藤	L.B.	主井	
兵庫	R.B.	木島	
庄野	G.K.	調子	
1	前半	5	
0	後半	2	
1	合計	7	

- 3 林千代子
 4 今川貞子
 百米平泳
 1 前畑秀子 1:38.8
 2 山田金野 1:56.0
 3 浅井品子
 4 熊谷雪江
 二百米平泳
 1 前畑秀子 3:16.2
 2 山田金野
 3 浅井品子
 4 近藤春子
 五十米背泳
 1 加藤好子 41.0
 2 吉田文子 42.0
 3 高野菊枝
 4 伊藤ゆき
 百米背泳
 1 加藤好子 1:30.2
 2 吉田文子 1:35.0
 3 高野菊枝
 4 伊藤ゆき
 四百米リレー
 1 淑徳高女チーム 5:59.4
 2 椋山高女チーム
 3 愛知縣立第一高女チーム
 三百米メドレーリレー
 1 愛知縣立第一高女チーム 4:40.2
 2 椋山高女チーム
 3 淑徳高女チーム
 (名古屋體育協會)

東海水上競技選手権大會

主催 名古屋體育協會
 場所 清洲プール(五十米)
 期日 昭和六年六月三十一日
 決勝記録(男子)

百米自由型

- 1 清川正二 1:09.6
 2 伊藤繁一 1:11.0
 3 渡邊健重
 4 青木 茂

二百米自由型

- 1 今枝正治 2:39.0
 2 奥西真人 2:47.8
 3 近藤甚吉
 4 松原次郎

四百米自由型

- 1 今枝正治 5:45.4
 2 近藤甚吉 5:47.0
 3 水谷卯三郎
 4 松原次郎

千百米自由型

- 1 奥西真人 23:33.0
 2 伊藤峰之 24:38.8
 3 早川正之
 4 石田捨雄

百米平泳

- 1 中川重雄 1:24.4
 2 磯野勤三 1:40.4
 3 小出義彦
 4 杉野武雄

二百米平泳

- 1 磯野勵三 3:03.0
 2 小出義彦 3:14.0
 3 杉浦武雄
 4 岩橋孝司

五十米背泳

- 1 永廣宇之助 36.0
 2 若松昇輔 39.4
 3 佐竹 辨

百米背泳

- 1 清川正二 1:13.4
 2 永廣宇之助 1:28.4
 3 水谷宇三郎
 4 若松昇輔

三百米メドレーリレー

- 1 名古屋高商Aチーム
 清川、磯野、奥西 3:46.0
 2 名古屋高商チーム
 永廣、山田、水谷

決勝記録(女子)

五十米自由型

- 1 戸張ハツ 36.6
 2 神谷富喜子 38.0
 3 武田民子
 4 今川貞子

百米自由型

- 1 小林一枝 1:20.2
 2 戸張ハツ
 3 神谷富喜子
 4 社本田歌子

二百米自由型

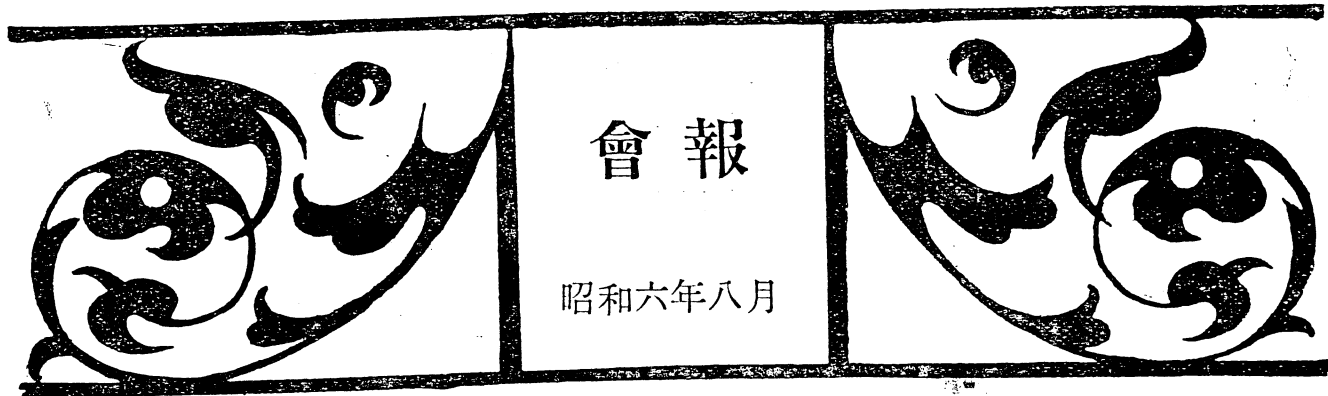
- 1 小村一枝 3:05.6
 2 横江照子 3:11.0
 3 伊藤和子
 4 林千代子

四百米自由型

- 1 横江照子 6:58.8
 2 伊藤和子 7:23.4

白山氏送別、東京、横濱、OB水球試合が神宮プールで行われた時の話、

インチキなOB軍の審判は誰も引受けてがない。審判の審判をやらぬ約束で慶應の廣瀬君をヤツトの事で頼んできて試合が開始されると、東京軍より先づ「審判球が四、五寸横濱方に寄るぞ」次いで横濱方から「審判ゴマカサれるなー」「シツカリシロ」かくしてラヂオドラマの如きいともウルサキ試合は廣瀬君を完全に困ばいせしめて二對二の同點で目出度く終りを告げました。



F I N A

國際アマター水泳聯盟會報

1 男子飛板規定飛に就て

本誌第6號 FINA 欄にも記した通り、男子飛板規定飛第三の前踏切後一回宙返りは立ち飛込であるか、走りであるかに就ての疑問は FINA よりの電報により、立ち飛込である事に決定發表したが、右に就て重ねて名譽理事ドナート氏より釋明の手紙が來た。

拜啓 本日下午記文意の貴電確かに受取申候

「男子飛板規定飛第三モルベルグは立ちか走りか、返電待つ」

此に對し直ちに「立ち」と電報にて御確答申上げし次第に御座候。此に依り御了解相成候事と存じ候、昨年七月四日ベルリンに開催されし、飛込常置委員會の議事録に該飛込の「走り」とされたるはミスプリントに有之、此の事は本年四月十一日發行の FINA の機關誌「ナタシオン」(巴里)上に於て訂正仕り置申候。

小生は此の雜誌を購讀されん事を御勸め致候。目下 FINA は英文雜誌と協定する能はず、FINA の會報は小生よりの回章以外には上掲のナタシオン及ライブチツヒ

に於て發行さるゝシユイマーに依りてのみ發表さるゝ次第に御座候。

序ながら FINA の新ハンドブックに添附せる飛込審判票見本には正確なる規定飛の表を印刷しある事を念の爲申添候。明日出すべき回章には此の事を入れる豫定に御座候。

田畑政治殿

五月卅日

L. ドナート

2 FINA の回章——世界新記録、その他

七月一日附の FINA の回章の全文下記の通りである。此れに依ると新記録や、前號に記したジョージ・ハーン・カップ争奪、大陸對抗 800米リレーの件も決定された。

I 1931版 FINA ハンドブックの正誤。

世界記録の表中、女子 150碼背泳にて 1:56.2 の所に M. Hinton嬢と記したるは、J. Cooper嬢(英)の誤。

II ハンドブック發行後に於ける新世界記録。

男子競泳の部

種目	姓	名	時間	場	所	水路	年月日
300m 自	J. Taris	タリス (佛)	3:33.4	Paris	(佛)	33 $\frac{1}{2}$ m	31. 4. 16
400m 自	J. Taris	タリス (佛)	4:47.0	Paris	(佛)	33 $\frac{1}{2}$ m	31. 4. 16
880y 自	C. Crabbe	クラブ (米)	10:20.4	Long Beach	(米)	55y	30. 7. 6
500m 平	L. VnParys	パリス (白)	7:37.8	Gand	(白)	25m	30.12. 11
500m 平	T. Reingoldt	ラインゴルト (芬)	7:36.6	Helsinki	(芬)	25m	31. 4. 26
150y 背	G. Kojac	コージャック (米)	1:38.0	Cambridge	(米)	25y	30. 3. 29
200m 背	G. Kojac	コージャック (米)	2:32.2	New Haven	(米)	25y	30. 6. 16

女子競泳の部

種目	姓	名	時間	場	所	水路	年月日
100y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	60.8	Miami Beach	(米)	25y	33. 3. 13
100m 自	H. Madison	マヂソソ (米)	1:08.0	Miami Beach	(米)	25y	30. 3. 14
150y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	1:40.4	St. Augustin	(米)	25y	30. 3. 6
200m 自	H. Madison	マヂソソ (米)	2:34.6	St. Augustin	(米)	25y	30. 3. 6
220y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	2:35.0	Miami Beach	(米)	25y	30. 3. 18
300y 自	J. Mckim	マツキム (米)	3:49.0	Miami Beach	(米)	25y	30. 3. 14
300y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	3:41.6	Seattle	(米)	25y	30. 4. 4
300y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	3:39.0	Seattle	(米)	25y	30. 6. 17
300m 自	H. Madison	マヂソソ (米)	3:59.5	Seattle	(米)	25y	30. 6. 7
440y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	5:39.4	Long Beach	(米)	55y	30. 7. 4
500y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	6:16.4	Miami Beach	(米)	25y	30. 3. 16
880y 自	H. Madison	マヂソソ (米)	11:41.2	Long Beach	(米)	55y	30. 7. 6
1哩 自	H. Madison	マヂソソ (米)	24:34.6	Long Beach	(米)	55y	30. 7. 3
200y 平	C. Wolsten Holme	ウオルステンホルム (英)	2:54.6	Tronto	(加)	25y	30. 8. 16
400m 平	C. Wolsten Holme	ウオルステンホルム (英)	6:41.4	Royton	(英)	25y	30.11. 25
500m 平	C. Wolsten Holme	ウオルステンホルム (英)	8:35.2	Chadderton	(英)	33y	30.11. 17
200m 背	E. Holm	ホルム (米)	2:58.8	Buffaro	(米)	25y	30. 2. 1
200m 背	E. Holm	ホルム (米)	2:58.2	New Yonk	(米)	25y	30. 3. 1

因に此の發表の結果我入江稔夫氏の 200m 背泳の記録 2:37.8 は消される事になつた。

Ⅲ 飛込競技規定飛に就て

1933の一月一日迄行はるべき規定飛は、1931版の FINA のハンドブックに添附の表に示せるものである。

因に飛板及高飛込共に規定泳は FINA の規則に依れば各オリンピック期間毎に定められ、且各群より選ばれねばならぬ事になつて居る、1931年版添附の飛込表には 規定飛は既に昭和六年改正の NSR の規定飛の中に採用せられてある。

Ⅳ オリピック競技役員

1932年ロスアンジュレスに開催さるべき、第十回オリンピック競技に對する水上競技役員代表表は 1932 年五月一日以前に FINA 名譽理事迄各加盟國より送附ありし、如何なる役員として推薦せるか明記の事。尙此等の役員は必ず競技に出席しなければならぬ。

V ジョージ・ハーン永久チャレンジ・カップ制定

此は FINA の創立者であり且又第一回の名譽理事であるジョージ・ハーン氏の徳を彰して FINA 理事會に於て曩に決定せるもの。カップは大陸對抗の 800m リレーの優勝

チームに與へられる事となつた。此カップに對する最初の競技は、1932年八月十三日午後四時ロスアンジュレスに於て米國、歐羅巴、亞細亞、濠洲の各チームの間に行はれる事になり、夫々の大陸宛招待を發した。従つて先に發表せるオリンピックのプログラム中次の訂正を要する(本誌第五號會報参照)

第八日 正午 12.00 男子 1500m 決勝
午後 12.30 水球
午後 5.00 800m 大陸對抗リレー

Ⅵ FINA 代議員會議

今回の代議員會議は 1932 年八月十四日、十五日兩日ロスアンジュレスに開催の豫定、場所は確定の後追而發表、各團よりの提案は 1932 年二月五日迄に FINA 名譽理事宛送附の事。

Ⅶ 豫選組合せ會

オリンピックの競泳、飛込、水球に對する全部の豫選の組合せは、1932 年七月三十一日午前十時にロスアンジュレスの水泳場に於て舉行す。

Secton Abrad

明治神宮水泳場完成記念

日米對抗水上競技大會會報

1. 來朝米國選手のメンバー決定

日米對抗の爲に AAU より選ばれて來朝すべき米國選手に就て、殊に米國に於ける最も強いコーチヤックの招待に就て NSR では四月以來幾回となく、手紙や電報で交渉し續けたが、其の間或は來朝の報もあり、又意志をひるがへしたニュースも傳はり、ファンをして一喜一憂せしめたが七月四日に至りコーチヤックは遂に渡日せずと決定し正式のメンバーを打電して來た、此によれば監督キツパス氏及選手十二名と極つた、メンバーに就ては監督キツパス氏よりの最近の手紙を紹介するが最もよいと思ふ。尙詳しくは本號の飯田氏の記事を参照されたい。

拜啓 貴聯盟の御招待に依り渡日すべき米國チームのコーチ兼マネージャーとして小生が選ばれたる事は既に御存知の事と拜啓致し居り候。小生は此の榮譽を得たる事を喜び、諸君と會合し又共に泳ぐ事に大なる期待を持つものに有之、又本大會に於て貴國並に米國の役員選手が互に一層親密なる交際を得られる絶好の機會を得たるものと確信致し居候。

茲に先貴兄等の御存じなかるべき選手等を御紹介申上ぐべく候。コーチヤック、スペンス兄弟、ラウファー、シュワーツ等は彼等が將來學業を續くべき學資を稼がんが爲に今回の渡日に加はる事を得ざるに至り申候。御存知の如く世界の財界の状態は大多數の者にとりて重大なる問題と相成り居り候。甚だ遺憾とは存じ候も如何にもなし難く御座候。下記のメンバーは今回小生が引率し行くものに有之候

C. Crabbe クラブ 既に御存知の通り。

A. Clapp クラップ 同上。

Kalili カリリ兄弟 昨夏日本に於けるよりは一層腕を示さすべく。

G. Fissler フィッスラー 紐育アスレチック倶楽部員 自由型背泳の好泳手。

L. Osburne オス伯恩 エール大學來年の主將、昨夏ホノルルでは膝は痛めて跛をひきながら尙且よく泳ぎたり。

J. Howland ハウランド エール大學の前キャプテン 優秀なる自由型選手、昨夏はホノルルで主將でありながら盲腸炎の爲に斃れたり。

C. Lecdy リーダー エール中距離泳手、此の冬のシーズン中に於て四百四十碼五分を切るはコーチヤック以外此一人。

J. Schmeiler シュメイラー 平泳自由型、ミシガン大學生、若い將來あり、身體が大きく、強く、荒削りなれども而し非常な進歩を示しつつあり。

J. Gilbuli ジルビュラ 自由型、鋭峰を表したるばかりの高等學校生、100, 200 碼 (室内選手權大會) によく泳ぎ、100 碼高校新記録を作りたり。

Donald Horn ホーン (平泳) 若い高校生、前二回の全米大會に好記録を残せり。

今般のチームの能力は人に知られざる憾あるも、小生は非常によき、又本文の始めに記したる除外例を別にしては、眞の米國代表とするに足るものと愚考致し候。目下寫眞を持合さざるは遺憾に御座候へども、ハワイに於て撮影し、御送附申上ぐべく候。

小生の十三歳になる愚息を同行致させ度、尤も彼は歐州に二回、布哇にも昨夏旅行し、旅行には充分慣れ何の邪魔とも相成るまじくと存じ居り候。

昨夏御交誼を結びたる諸兄等と舊交を温め、且諸君と新に御交際の機を得らるゝ事を楽しみ居り候。敬具

六月二十四日

田畑政治殿

R. J. H. Kipbuth. キツパス

2. 日程の決定

前號に大會は八月十四日より三日間の豫定と發表したが其の後米國より八月十三日横濱發の船にて歸米したき要求あり、遂に八月七、八、九日に繰り上る事となつた。

3. プログラム一部變更

競技委員會にて協議の結果、第一日プログラム中、(前號發表) 800m 自由型と 200m 自由型とを入れかへて行ふ必要を認め、200m 自由型の後に 800m を行ふ事と決定、此の旨キツパス氏に打電了解を求めた、又本競技の間に女子競泳及飛込エキジビションを加へる事となつた、何れも夜間競泳。

4. 秩父宮賜杯及トロフィーの件

畏れ多くも日米對抗競技に於ける優勝チームに對し 秩父宮殿下より優勝杯を賜る事となつた、選手のみならず役員も、全てのファンも舉げて此の名譽を喜びたり。

日米對抗の各種目に對するトロフィー寄贈者は Photo Suici の説明にある如く決定、其の製作に關しては全部を

構造社同人に托し、同人十二名の競作する所となつた、蓋し競技界に於ける一新機軸たるを疑はぬ。(Photo Suiei 参照)

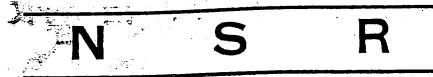
5. 大會組織決定

七月七日 NSR 理事會に於て次の如く決定
會長 Olympic Committee
大日本體育協會長 法學博士 岸 清一

名譽主事 大日本體育協會主事 高島文雄
總務委員長 大日本水上競技聯盟會長

法學博士 末弘嚴太郎

總務主事 NSR專務理事 田畑政治
總務委員 石本巳四雄 飯田光太郎 杉本 傳
小林榮三 野村憲夫 松澤一鶴
西本龍三 村松正一 安部輝太郎
川口又男



日本水上競技聯盟會報

再度「水泳」

1. 事務所 變更 編輯部移轉

明治神宮水泳場完成と共に NSR 全機能を擧げて此處に移轉した、NSR聯盟本部、編輯所も共に神宮プール内にある、諸問合せ等總て下記にされたい。

日本水上競技聯盟

東京市四谷區明治神宮外苑水泳場内

電話 青山 (36) 7019

振替口座 東京 39919

尙卷頭田畑氏の文にある通り今迄の編輯主任白山源三郎氏は同氏の就任先である關東學院より留學を命ぜられ、兼ねて大日本體育協會よりオリンピック調査委員を命ぜられてロスアンジュレスに向はれた。

2. 昭和六年版水上競技規程發行

第五號に發表せる改正諸規約、規程を含む昭和六年版水上競技規定は、七月一日三省堂(東京、大阪)より發行された。定價五十五錢。

尙同書には今年度各部委員が發表されてあるから、該書につき見られたい、記録申請書に式を改めたから注意されたい。

3. NSR 聯盟旗制定——聯盟マーク改正

本誌表紙は今回新に制定せられたる聯盟旗を原色を以て示したるもの、原案、構造社の日名子實三氏、此により水を表すシンボルが甚だ優秀なので、些か朝變暮改のきらひはあるが、本誌第5號に發表せる聯盟マークを廢棄して、此のシンボルを以て新なるマークと決定した。

4. 理事會——新加盟團體

七月七日午後六時 明治神宮貴賓室に開催
出席者 末弘會長、田畑專務理事、杉本傳、小林榮三、野村憲夫、松澤一鶴、西本龍三

I 新加盟團體

沼津游泳協會(本加盟、Bクラス) 此は昨年夏の代議員會に於て、加盟手續を理事會に委任されたるもの今回濱名灣游泳協會と富士川を境にして統轄團體の實を擧ぐる事に協定なり、再び加盟申込の手續があつたので理事會は一致可決した。

三重 水泳聯盟 (假加盟)

秋田縣體育協會 } 此の四團體より夫々加盟申込あり、
富山縣體育協會 } 理事會としては假加盟として許し、
和歌山水泳協會 } 秋の代議員會にかける豫定である。

II 日米對抗競技に關し別項の通り種々協議決定する所があつた。

5. 神宮プール定成

Photo Suiei 所報の如く神宮プールも愈完成したので六月十五日工事請負者清水組より明治神宮奉贊會の手に引渡され、六月十九日、秋岡權宮司の手に清祓式を行ひ奉贊會管理署、聯盟、工事關係者等參列した、式後關係者に下見を許し、プールは廿一日から公開された。

6. 文部省主催、水泳指導者講習會

七月一日より九日間、神宮プール、日本青年館に於て上記の講習會を行つた。各地より參集するもの二百名に上り以て如何に各地に於ける水泳熱の盛んであるかが分る。講師としては主として NSR の者が之に當つた。

7. 競泳池公認の爲の測量者出張

競泳池公認の測量の爲め聯盟より前陸地測量部技師野坂喜代松氏を公認測量者として指定することゝなつた。測量希望の向きは至急聯盟宛其旨を申込まれたい。近接の地に測量希望の競泳地のある場合は成るべく合同して申込まれたい。本年は最初の事であり地方より相當の申込があると考へらるゝので各地よりの申込を集めて適當にスケヂュー

ルを作つて出張する豫定である。然し特別に急を要する場合は勿論單獨測量に出張する。

費用は測量者三人一組となつて出張して出發より歸京迄の間一日金二十圓の日當、往復二等汽車賃、急行券、寢臺等の旅費を申受け尙依頼者にて宿泊料を負担すること。測量費、器具使用料は別に申受けず。

測量は特別困難な場合でない限り一競泳池に就いて全一

日で終了する筈であるので近接した土地をうまく組合せれば比較的小額で済む。

申込があれば聯盟でスケジュールを作つて各申込者へ日程及び概算額を通知する。其送金を納入後出發する。歸京後測量日程報告に依つて精算する。宿泊は申込者にて然るべく取計ふこと。

尙圖面を別に作製する場合は別に費用を要す。

加 盟 團 體 會 報

1. 濱名灣游泳協會

前號所載、事務所の電話番號は下記に訂正。

電話 濱松 672 番呼出。

2. 名古屋體育協會

昭和六年度代議員、高松定一、見田公一兩氏と決定。

尙事務所は従前通り名古屋市役所内。

3. 松江體育協會

昭和六年度代議員、改選の結果、

古井善之助氏 松江市殿町59

と決定。昭和六年水上競技規定には従前通り山口權六氏と

なつて居るから訂正されたい、尙山口氏は今後同協會とは一切關係無之との事、事務所は松江市役所内

4. 石川縣體育協會

八月廿二日石川縣松任プールに於て第四回全日本水上競技大會、及全日本女子水上競技大會を主催する、詳細は石川縣戸内同協會宛照會されたい。

5. 福岡縣水泳協會

同地方の水泳スケジュールを送られたが、前號のメ切に間に合はず、又本號に紙面少くて掲載されぬを遺憾とする

編 輯 後 期

編輯主任の白山源三郎氏が本文にある如くロスアンジュルスに旅立つて、編集部は大アワテ、送る時は景氣良く送つたがいつたい、ドウナルンダと寄り集つた連中で兎に角ヤンヤンヤと作り上げたのが本誌、題して日米戦特輯號色々手落があるでせうが苦しうでしたら安木節の言句を借りるのぢやないが「節の違ひや言句の誤り、平に御容謝下さりませい……」と一同讀者諸兄にお詫して置きます、

日米戦、日米戦と唄つて居たがいよいよもう、その日がやつて來た。

此の本を手にする時分には日本選手も決定し、米國選手も當着して試合氣分が濃厚の事と思ふ。

世界一の立派な神宮プールで世界一の米國選手を負かして世界の新記録を作り、そして吾々は世界一の水泳國にならうでは御座らぬか

寫眞で御承知の如く運動競技界で未だ且つて無い立派なトロフキ

ーを澤山作り得たといふ事は誰が何んと云つてもエバツテみたくなる。

十二のトロフキーを順々に見ているとついでに貰ひたくなる。米國選手にやるのはモツタイ無いと誰かがおつしやつていたが無理がない。

トロフキーの内二百米平泳に出ている構造社同人雨田禎

之氏作「ガンジス河の水精」を眺めていた或人「印度のガンジス河と江戸の隅田川とはどの位大きさが違ふか知らぬが、雨田氏に今度は「隅田川の水精」を頼もうぢやないか!! と。

白山氏の後任鶴岡氏が突如房州にコーチに出かけたので編輯メ切間際に松屋の水泳展に松澤氏を奪れている編集部は更に大なる穴を開けられて大騒ぎ、六面八臂の阿修羅王の如き活躍で編輯後記を書き終る。

重ねて乞ふ讀者諸君の御寛容。

日本水上競技聯盟機關雜誌 水 泳 第 七 號

安價 一部 三十錢 年六回隔月發行

豫約申込者に限り販布す (一年前金豫約) (は送料不要)

廣 告 料 十圓乃至三十五圓

御申込次第詳細回答

昭和六年七月廿八日納本

昭和六年八月 一 日發行

編輯兼發行人 白山源三郎

(日本水上競技聯盟代表)

印 刷 者 平 林 唯 逸

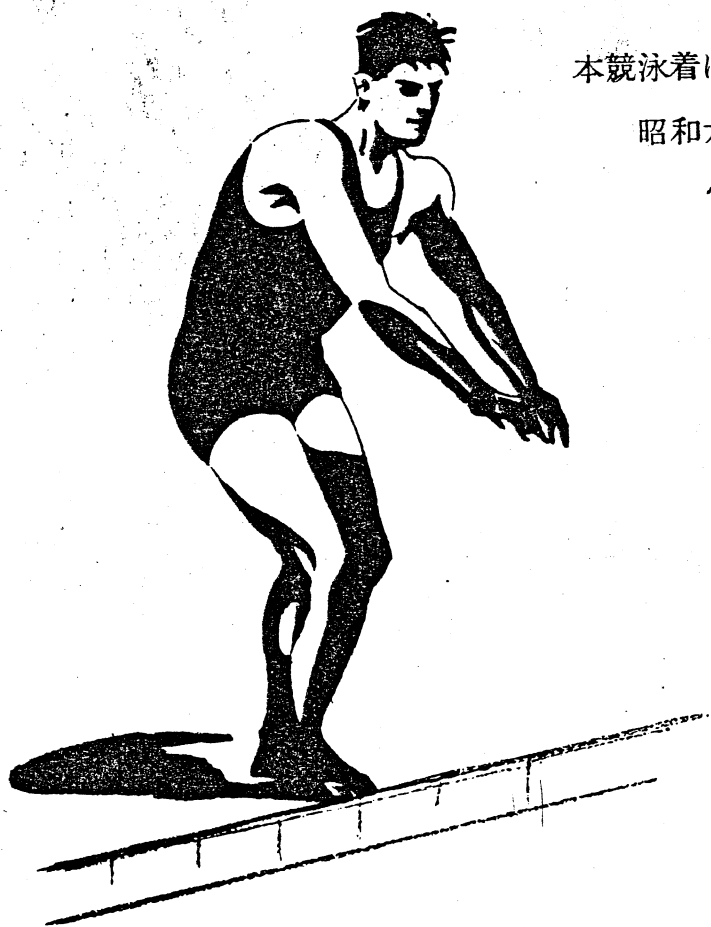
印 刷 所 東 海 印 刷

東京府蒲田北蒲 田833

發行並 東京市四谷 神宮外苑プール
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替 貯金 東東 三九九一九番

オリンピック競泳着

明大水泳部 御愛用品
慶大水泳部



本競泳着は日本水上競技聯盟

昭和六年度改良規定寸法で

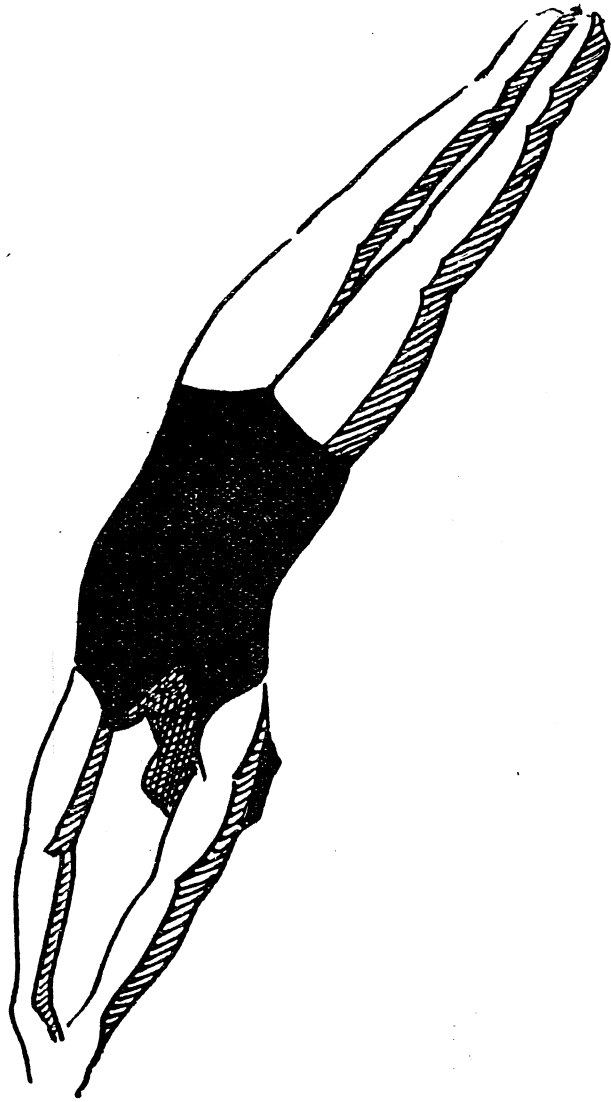
常に各方面の御愛顧を

賜つて居るものです

名古屋 大須門前
京都 四條通
大阪南 日本橋

美 津 濃

大阪 淀屋橋
東京 小川町
神戸 元町



暑
中
御
見
舞

全 國 大 學 中 等 學 校 御 用
日 本 水 上 競 技 聯 盟 指 定
水 泳 着

千 石 屋 商 店

本 店 橫 濱 市 中 區 壽 町 二 丁 目 八 十 七 番 地
支 店 東 京 市 牛 込 區 山 吹 町 二 丁 目 早 稻 田 大 學 通

|| 出版豫告 ||

愈々出づる、ウオーター・ポロの名篇!!
著者は執づれも斯界の權威者!!

水
ウオーター・ポロ
球

最近頗に隆盛を加え來つたウオーター・ポロ競技、良好なる指導書無く、正しい規則の理解と、その技術の解柝運用の了解とに苦しめるファン諸彦の熱望に仍り、著者の快諾を得て、本社が茲に上梓する多年の蘊蓄を傾けての著者の熱意は必ずや、競技者、水泳教師及び観る者をして正しい理解と根本技術の會得とを完ふせしめる。

尙ほ進んで टीम・ワーク。及フォーメーション等の高等戦術に迄論及して餘す所無く、競技者の無二の指導書として切にお薦めする。

杉田 忠 治
吉本 祐 一
安部 輝 太郎
共 著

定價 一 圓
送料 八 錢
體裁
四六判・箱入美本・
懇切なる圖解、最近
の寫眞豊富、裝幀も
極めて優雅なり。

|| 八月上旬發賣 ||

月刊雜誌 水 泳 界 特 別 號

== 日 米 對 抗 水 泳 戰 ==

駿 南 社 發 行

東京京橋入船二ノ一・振替東京七五四四〇番

水泳

齋藤 巍 洋 著・四六判約・定價一圓五十錢・八送錢料

オリンピック選手として、また大學選手として、巴里に、ハワイに、濠洲に遠征の榮あるチャンピオン生活を終へ目下大毎運動部記者として活躍中の「水の覇者」が、初心者並に一般水泳家の爲に生きた體驗をそのまゝに説いた好指導書。

競泳

和久山修二著・四六判約・定價七十錢・六送錢料

競泳研究の好手引。内容は、(一)初心者に對する競泳の心得。(二)競泳(クロール、バツク、アレスト)に對する各部分的研究及ターニングスタート、フィニッシュ、リレーレースの引繼の如き泳法外の諸技術の説明。(三)競泳の練習方法並にレースに就ての注意。(四)諸大家の練習に關する論說等。

昭和六年度

水上競技規程

日本水上競技聯盟編

定價五十五錢

送料四錢

私の野球

腰本壽著
定價二圓

野球規則と疑義の問答 橋戸信編 定價五十錢

橋戸式スコアブック 橋戸信編 大型版七十錢 小型版四十五錢

三省堂野球スコアブック 三省堂編 定價二十錢

籠球の原理 ミンワエル原著 定價一圓八十錢

スポーツフィールド(跳擲) 森田俊彦編 定價一圓五十錢

スポーツトラック(競走) 森田俊彦編 定價一圓五十錢

支店 東京市神田區通波座 大阪西區區阿波通 振替 東京一〇〇三 振替 大阪一八〇三 株式會社 三省堂